

特254

806

工業資料第九輯

工業權彙報

高知縣內務部

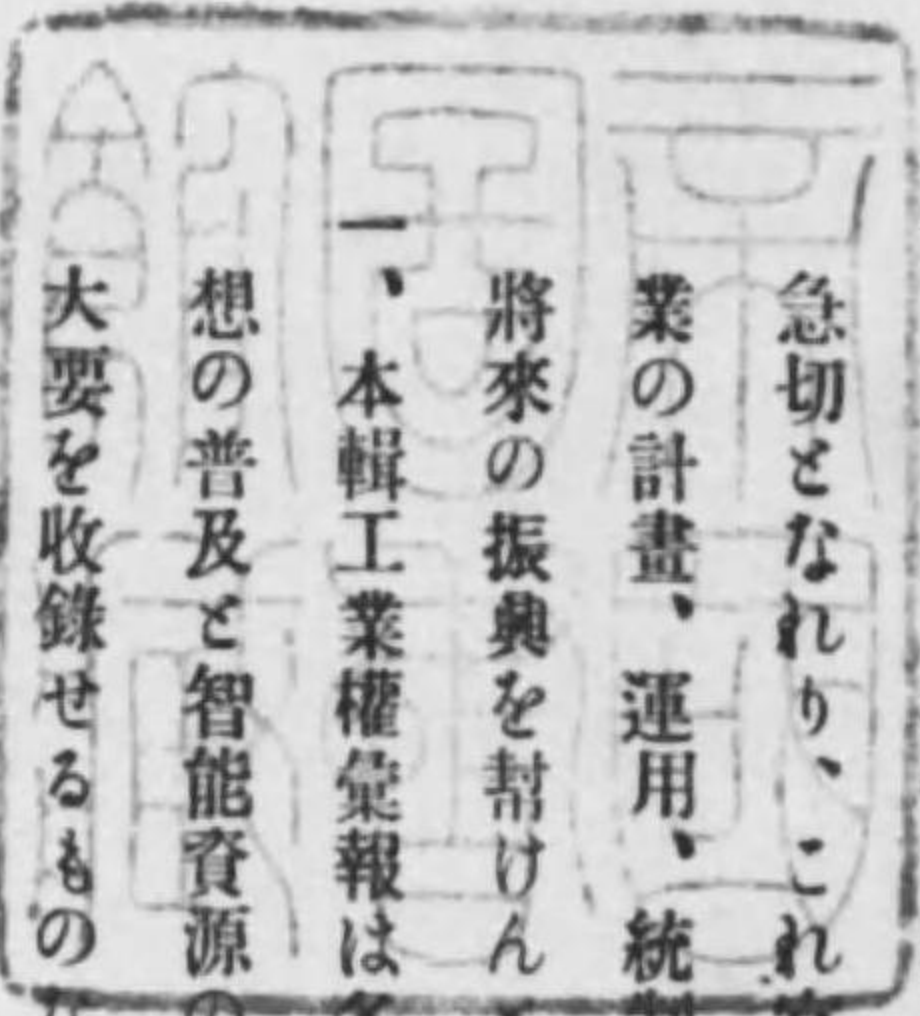


始



特 254
806

序



一、人口多く労働資源の豊かなる状態に鑑み將來國民福利の増進は之を工業の作興に俟つべきもの一層
 急切となれり、これ官民共に不斷の策動を要する所なり。本縣工業機關の設營未だ完からず、爲に工
 業の計畫、運用、統制に資料を欠ぐの憾あり、是を以て工業資料を逐次編輯し聊か從來の欠乏を補ひ
 將來の振興を助けんとする所以なり。

一、本輯工業權彙報は各廳役場工場商店等の執務上又は研究調査上の参考に資し、併せて工業所
 有權彙報の
 想の普及と智能資源の啓發に備へんため本廳工業職員に於て編輯し主として最近に於ける發明考案の
 大要を収録せるものなり。

一、本輯中意見に亘るものは執筆者の意見とす。

昭和五年三月二十日

高知縣廳商工課にて

地方商工技師 廣川吉次郎



目次

染織工業	(一)
動機工業	(二七)
化成工業	(二七)
養料工業	(五九)
靜器工業	(七一)

染織工業

織物

太き經緯絲を密に組織したる表地と細き經緯絲を粗に組織したる裏地を重ねて袋織となし所々を一重に織り裏表の離開せざる様にし表面を起毛して織毛を密生せしめたるものにして起毛せる「ネル」の表地に「ガーゼ」の如き裏地を附したると同一効果をあらはし且つ表裏が離れる事なきため皺の生ずる憂なきものなり。(四實出公第九九〇七號)

無双織物製造法

織物原絲の經緯を抜染し得る染料と然らざる染料と配合したるものを以て染色し然る後此等の絲を以て表を綾織に又裏を縞子織に製織し其表面を石鹼及明礬或は其他の滲透防止劑を以て處理したる後裏面は抜染劑又は着色抜染劑を以て抜染若くは着色抜染する、之を加工するときは織物製織の關係により極めて簡單なる方法にて趣味と實益とを兼ねたるものを

得らる。(四特出公第四五五六號)

編織物製造方法

「カゼイン」或は膠質と「カゼイン」の温溶液に明礬又は重クロム酸加里を混和したるものを人絹布綿布或は紙類に塗布し之を縦に細断しその細條の兩側に絹絲又は綿絲を添付並列し再び前記溶液に通し乾燥したるものを以て編物又は織物を構成したる後之を「ホルマリン」溶液と硼酸又は「サリチール」酸の如き防腐劑を適宜添加したるものに適當時間浸漬するものにして堅牢にして水洗に耐ふる編織物を得らる(四特出公第三五二七號)

絹ポプリン

生糸を經糸とし絹絲又は絹紡績絲の右強燃緯絲二條と左強燃緯絲二條とを交互して各一條宛を打込みたる地に緯絲各一條又は二條毎に一條の人造絹糸を打込み地合部分に於ては全部裏面に浮かし模様部分に

於て強燃地緯糸と同口に組織し任意表裏に經糸二條以上を越へて經糸一條に綴付くる如くにして縫取模様に織成し精練其他の仕上を施して「ポプリン」地状となしたるものにして適度の光澤を有し兩面的なるを以て肩掛け「マフラー」等に使用する絹「ポプリン」として頗る適切なるものなり。(四實公第一一五〇一號)

織機緯入方法

一側より緯糸を吹込みて打込み次に最初吹込みたる緯糸を半幅の長さ丈け吹込みて残り半幅の長さを折返し其端を切斷して該残り半幅の部分を吹込みて之を引延ばしたる後打込み次に二番目に吹込みたる緯糸も同様に半幅の長さ丈け吹込みて半幅し長さを折返し其端を切斷して残り半分を吹込みて之を引延ばしたる後打込み順次交互に之を繰返して緯入を行ふものにして普通のもの、如く耳組織を要せず且つ耳の離散することなき織物の緯入を容易に行ひ得らる(五特出公第二六九號)

木綿縮織製造法

すことなき縮素布の製法。(四特出公第二六〇九號)

地紋模様顯出法

鹽化亞鉛の濃厚液若くは之を主成分とする糊料を任意に染色せる綿布帛又は白地綿布に印花し乾燥後又は乾燥することなく稀酸若くは可溶性稀酸鹽溶液中に通入し次に水洗乾燥を行ひ織風の地紋模様を顯出する方法なり。(四特出公第一五一五號)

麻布「ゾック」の製造法

葛蕪粉及「タビオカ」ノ水溶液と「パラフィン」の石油溶液とを混合し之に適宜の染料を加へ尙少量の樟腦油又は「ナフタリン」を入れ更に石灰水と「フェオルマリン」との混液を添加し得たるものを麻布の表面に塗布し裏面には「タビオカ」と膠とよりなる塗料を塗布するものにして防鼠、防虫、防水性にして柳行李の隅等に應用して適當なるものなり。(四特出公第四八三七號)

縞「タオル」地

細綿絲に葛蕪粉「ゼラチン」「カゼイン」及「アセトン」の混合液を塗着乾燥したるものを經とし之れに強燃絲を緯とし織成せる綿布に適當の縮皺を與へこれを「アルカリ」にて固定せしめ次に葛蕪粉、加里明礬及晒粉より成る粉末を煮沸溶解せしめ之に「エーテル」醋酸「アミル」を加へたる液中に浸したる後「ホルマリン」液に浸漬し水洗乾燥し最後に蒸氣を通して仕上するものにして加工至難なる細綿絲を使用し最も簡便且固定的に現出せしめ而も極めて優良なる光澤と特殊の風味とを有する縮縮を得らる。(四特出公第五一九五號)

縮織物製造法

植物性絲條或は植物性動物性絲條を交へて成る強燃縮素布加工に於て此の縮素布に縮寄せを行ふことなぐ直に適度の蒸熱を施して燃糸の收縮勢力を或程度減殺する工程と然る後之を苛性曹達溶液にて處理する工程と乾燥後幅揃へを爲して更に之を蒸熱する工程との結合を特徴とするものにて雨水、汗等の爲めのみならず熱湯洗濯を爲すも縮幅大の收縮變化を來

縞狀「タオル」地を改良し二重織「ガーゼ」組織中に單地の「タオル」地を縦格子又は縦横格子の縞狀に形成せしめたるものにして耐久性に富み浴布被覆其他の着尺地材料として頗る好適なり。(四實出公第一四五八一號)

半幅輕裝女帶

半幅の胴捲帶の一端と半幅の大鼓結用帶とにて太鼓結をなす女帶にして太鼓結用帶の垂の部分を二重とし他の部分を二重となしたるものなり。(四實出公第九五九四號)

半幅輕裝女帶用太鼓結

全部半幅の布片を以て構成したる太鼓結の改良にして太鼓結用帶と手と帶の延長部の垂とを以て太鼓結を形成し太鼓結の上部に帶揚を介在せしめたるもの(四實出公九五九五號)

擬羽毛皮製造法

紙を適宜の枚數重ね其上面に眞綿纖維を縦又は横或は斜にしたる層を重ね其上面に其纖維の向きと同じ

向きにして太毛糸と細毛糸とを交互に適當の間隙に敷き列べ其上面に之の向きと纖維を同じ向にして作りたる層を重ねて一層となし縦纖維層は横畝状となして布面へ縫着し此の畝の毛糸より上層を切り開きて成る羽皮毛皮兩代用擬羽毛皮製造法にして縫着したる一布に羽毛兩要質を集合したる一見羽毛兩立の皮に擬ふものを得らる。(五特出公第一四一號)

織布代用紙製造法

紙綿或は紙綿と柔軟性紙を「ゴム」液に浸漬したるものを其儘重合するか或は前記浸漬したるものに浸漬せざる紙綿或は柔軟性紙を重合したる後之を皺縮し然る後壓搾型成したるものにして強靱にして防水性なる綿布、麻布等の代用品を廉價に得らる。(特許第八三八六三號)

濃淡模様染色法

豆汁、牛乳「カゼイン」卵白「アルブミン」の混合物に「テレピン」油少量を混入し是に餅糊を加へたる糊を機械捺染法によりて布地上に印花し蒸したる

四

後地染を施して水洗乾燥する捺染法にして布地上に濃淡二様の模様を極めて鮮明に顯はし得るものなり(四特出公第三五二〇號)

砂繪式友禪染色方法

染料を澱粉糊若くは「ゴム」質糊、膠質糊に混和し攪拌して均質とし之を板狀に伸し所要の抜型にて各種の置模様を抜取りて乾燥したる後豫め白色の薄糊を施せる綿毛織の纖維若くは布地面上に之を貼着し其の上に粉末染料を撒布し後乾燥することなく蒸籠内にて蒸熱し水洗するものにして從來の捺染法の如く各色染料を塗布する毎に一々乾燥する必要なく又型紙、箆等に染料が附着する患なく迅速美麗に染色し得るものなり。(特許第八二七〇四號)

活性炭を使用する抜染法

還元法抜染糊に植物源動物源の活性炭を加へ良く混和して抜染せんとする染物上に塗布し蒸熱したる後水洗して抜染するものにして抜染困難なる又は抜染後復色するが如き染料を簡單に且つ完全に纖維上よ

り除去し纖維を傷害することなく抜染せんとするものなり。(四特出公第三二三四號)

模様の周圍を異色に染色する方法

無地に染色された巾地に、抜染糊を以て模様を繪き上記糊料の半乾燥状態に於て蒸熱し模様の周圍に糊料中の抜染劑を滲出せしめ糊料の附着したる儘之れを適宜染料中に浸漬し染色し洗滌するものにして在來極めて困難とせられたる模様の周圍を輪廓的に異色の染色をなすこと容易にして且つ鮮明に模様を染出し得るものなり。(四特出公第三四八二號)

染織布又は染絲に獨特の滋味及び防水的效果を與ふる染色方法

染織布又は染絲を豫め鉄「アルミニウム」又は「クローム」等の金屬鹽類の水溶液を以て媒染を施したる後生漆を加里石鹼と混和し之れに水を混和して得たる膠質溶液を以て染色處理するものにして獨特の

滋味及び防水的效果を與ふるものなり。(四特出公第二五九六號)

濃淡模様染色法

家蠶屬又は野蠶屬の生絲より成る織布若くは半練せる絹布又は生絲と半練せる絹絲を任意交織せる織布に「アルカリ」又は「アルカリ」金屬の炭酸鹽類又は石鹼等任意の絲練劑を加へたる粘稠糊にて印花し乾燥後濕潤せる蒸熱に觸れしめ次で水洗後所定の染料にて引染、浸染、型染等任意の染色を施すものにして織布に濃淡二様の染色を現はし之を模様と地色とに分ち恰かも二回の工程より成れる染色物の如き模様染を一回の染色にすものなり。(四特出公第四六五一號)

「バイオグラフィ」應用染色法

硫黃、酸化亞鉛及亞麻仁油と黒汁又は其他の顔料を混和したる塗料を以て細線或は太線等任意の圖案を石英硝子板に描き之を原型板とし「バイオグラフィ」に特殊の光線裝置を施設せしめ豫め該光線に依りて

五

分解する藥品又は染料を以て下漬せる織布又は假織せる經系に任意の圖案を映寫して模様を顯出し次に後處理を施して模様を顯出する「バイオグラフィ」應用染色法にして從來の型紙又は彫刻「ロール」等を使用し複雑を極めたるものを簡單に嶄新微妙なる模様織物を染色し得るなり。(五特許出公第一八七號)

拔染防止法

通常の染色用糊に拔染防止劑として硫黃又は重「クロム」酸加里を加へて拔染防止糊を作り之を以て染色されたる織布の上に印華又は塗布し拔染場はこの部分だけ拔染糊の拔染より完全に防止せらるゝものにしてこれにて所要の模様を染出し得るなり。(四特出第四三九一號)

模擬紋織生地の製造法

卵蛋白又は其の他の蛋白質と少量の「ホルマリン」を水に溶解し其の中に適宜布片を一定時浸漬して後乾燥し之れを竝設せる壓搾轉子の一方に任意模様を刻設し強度の熱を保持せしめたる壓搾轉子を通過せ

しめて印壓せられたる蛋白質に凝着作用を與へて更に水洗して不加壓部分に於ける蛋白質の脱除を行ひ模擬紋織生地を製造するものにして壓搾模様部分に蛋白質の凝着を計り水洗又は染色を施すも紋様を消失することなく紋織模様生地の代用となるものなり(四、特出公第三〇六九號)

光澤紙製造方法

精練漂白せる木綿糸を過酸化曹達の水溶液に浸し絞りたる儘之を約十時間放置し次に之に適量の二硫化炭素を吸収せしめ後之を葡萄糖及亞鉛末を混和せる稀硫酸液に浸漬し充分水洗の後濕潤の儘之に「アセトン」瓦斯を吸収せしめたるものにして洗濯に堪ゆる絹絲代用の光澤絲を簡易に製造するものなり。(四特出公第四九一〇號)

硬化絞模様構成法

絞染を施せる絞模様絞部分に「セルロイド」溶液を塗布し後乾燥せしめて絞部分を硬化せしめて硬化絞を製するものなり。(四特出公第四九五〇號)

植物纖維質物處理法

植物纖維質物に未熟若くは僅かに熟成せる「グイスコース」液を塗布し硫酸三%以上を含有する沈澱液にて「グイスコース」膜を形成せしむると同時に被塗纖維を「バーチメンタイズ」せしむる紙又は布の如き植物纖維質物の處理法にして強靱にして濕氣及瓦斯体を通過せしめざる紙又は布を得らる。(特許第八四〇九七號)

織物其他類似物に對する

艶出劑の製造方法

脂肪酸特に「オレイン」酸を有機酸或は硼酸と共に乳化劑例へば有機「サルフォン」酸「カゼイン」の如きものゝ存在に於て緻密入念に研和して糊狀、軟膏狀或は粉末狀を呈し水中に於て直接乳化され得る艶出劑の製造方法にして簡單に使用することを得るも古くなりし品物に其の新しきときに有せる弾性力と光澤とを容易に與へ得るものなり。(四特出公第一〇三〇號)

「トレーシングクロズ」製造法

織目緻密な織布を精練漂白し之に溶解せる「バラフィン」と寒天と馬鈴薯又は玉蜀黍若くは片栗粉の如き澱粉との混合泥狀液を數回に塗布し一回の塗布毎に加熱せる器具にて壓接と強き摩擦とを與へて製する「トレーシングクロズ」製造法にして堅牢にして光澤ある透明性のものを得らる。(四特出公第三四三〇號)

織物及織物原料を處理する方法

織物原料、絲織物等を「フェノール」「フォルムアルデハイド」樹脂にて處理し被處理物の纖維と纖維との間に樹脂が僅か殘留する程度に止め以て織物又は其の原料の強さを害することなく感じ良き柔軟度を與へ縦合洗濯を行ふも皺を生ぜざるなり。(四特出公第二五六四號)

光澤ある纖維の製造法

亞麻、大麻「ラミー」及類似の植物性纖維物質を苛性「アルカリ」溶液と共に短時間(一時間以内)六

乃至十氣壓の比較的高き蒸氣壓力に於て加熱するものにして簡單適切の方法に依り植物性纖維質物より其の強度と耐久性の一層大なる光澤ある纖維を得らる(四特出公第四七九五號)

縮織物の加工法

強然絲にて織りたる縮織物生地を斜に凹凸溝を附したる二個の壓搾凹凸「ロール」の間に導き處理生地に斜線状の押型を附する場合該生地を兩「ロール」の何れか一方を豫め回周せしめ後兩「ロール」間に導き其後脱糊處理を行ふものにして絞りに類似して趣きに富む縮織物を容易に得らる。(特許第八四二三四號)

擬麻製造法

漂白又は「シルケット」せる綿絲布を濃硫酸に「ヘキサメチレンテトラアミン」を添加せる淵液中に短時間浸漬し後水洗乾燥するものにして綿絲布の堅さ光澤透明度及伸張力を増加せしめ且つ麻の如き觸感及鳴り等を附與するものなり。(特許第八四三三八號)

防水布製造法

植物性纖維より成る厚地の織物を苛性「アルカリ」或は硫酸「アルカリ」の水溶液に浸透せしめて乾燥又は半乾燥し之を銅「アンモニア」液中(少量の「クロム」酸「アルカリ」を添加するも可)に通し乾燥し「パーチメント」化を行ひ次に石鹼の水溶液を以て處理し表面滑かなる絹狀光澤を有し耐久性ある防水布の製造法。(特出公第二四四一號)

「ビスコース」溶液による防水紙布の製造方法

適度の「ビスコース」溶液を紙及布帛に塗布すると同時に兩者を合着し稍々乾燥の後蒸氣蒸しをなし更に稀硫酸中に浸漬水洗ひの後再乾燥したるものを「ロール」機に掛けて成る防水紙布にして原紙布を害することなく耐久性大なるものを得らる。(四特出公第一三三八三號)

防水包装材料

速に油質を變ずる事なく除去し得るものなり。(四特出公第三九五二號)

生絲輸送用通袋

防水綿布製の箱形、袋の四隅の上方を切開き袖を作りたる通袋にして生絲箱詰の場合袖を木箱の縁に外方に折返し作業し得るものにして通袋に比し作業容易にして且つ破損するの憂を除きたるものなり。(四實出公第九六五一號)

生絲の増量法

生糸を稀鹽酸處理後四鹽化錫溶液中に浸漬し後脱水利、之を攝氏四十度乃至五十度にて「トワドル」約二度の磷酸曹達に少量の「アンモニア」水を加へたる水溶液中に三分乃至五分間浸漬し脱水の上下水洗乾燥するものにして絲を損せず經濟的に増量し得るものなり。(四特出公第三二四八號)

繰絲台

膳台の中部に繰絲鍋を着脱自在になし得る様取付を

油紙と厚紙又は晒木綿の類とを油紙の乾燥中に於て粘稠性を生じたる乾燥油により他の接着料を用ひずして相互に貼着したる防水包装材料にして粘着完全にして剝離することなく製品の硬直せざる爲め包装作業上に於て取扱便利なるのみならず尙又厚紙又は晒木綿の類に記號若くは文字等を記載し置けば之と油類との間には乾燥油の外何等他の接着料なきため記號若くは文字等は油紙の外部より十分に透視し得られ外部に附着せる水其他の液体のために汚損せられる如きことなき効果あるものなり。(四實出公第一二九四九號)

鑛油に依る汚染物の脱油法

襪履、絲屑、作業服其他一般の工場等に於ける使用により鑛油性油に汚染せられたる物質を遠心脱水機に收容し之に機の中央より適當の壓力を有する水蒸氣を噴射せしめて附着鑛油を水蒸氣の熱と水分とを以て汚染纖維上より分離し同時に脱水機を自動せしめ其の遠心力と水蒸氣の壓力と相俟つて之を機外に離散せしむるものにして、洗除困難なる鑛油性油を迅

極めて簡易になし兩側には數個の圓形突出部を造り兩側より繰絲をなし得るものにして繰絲鍋と索緒部とは連通せしめず夫々異なる温度に保ち且つ繭籠は圓形突出部及索緒部の何れにも嵌入することを得るものにして繰絲上便利なるものなり。(四實出公第九四七七號)

繭蒸熱處理機

隔板を以て蒸熱室と熱氣室とに區別しこの間を上下數段の無端網帶を懸張し蒸熱室には蒸氣過熱裝置を備へ網帶に供給さるゝ生繭を先づ過熱蒸氣を以て處理し次に熱氣處理をなす如くせる繭蒸熱處理機の構造。(四實出公第八三四四號)

生絲揚返裝置

在來の揚返裝置を小枠の一又は二三を適宜の懸垂機により工場の上等に下向に懸垂し他の小枠は普通の如く床上に配置し生絲を直接に絲掛杆を経て揚枠に至らしめ懸垂せる小枠の生絲は揚枠の稍々下方に於て機枠に絲掛環及鼓車を備へたる絲掛枠を取付けこ

の絲掛枠を経て揚枠に至らしめ床上配置のものと共に一齊に揚返しを行はしむるものにして從來四個の小枠を使用せるものを五個又は六個宛宛返して絲條の混亂紛糾の虞なく能率を増進し得るものなり。(四實出公第一〇、〇二九號)

繭解舒法

豫め繭を短時間直接蒸熱したる後炭酸「アンモニア」と「ナリチル」酸及酒精を混じたる解舒液を該繭に浸透せしめ然る後蒸繭機に於て蒸熱し次に該處理劑の配合率を異にせる解舒液を繰絲湯に注加し蒸繭及繰絲をなすものにして收絲量を増し繰絲湯の腐敗を防ぎ生絲の光澤を良好ならしむ。(四特出公第三〇六六號)

煮繭器

底によつて内部を煮沸室と加熱室とに區別し加熱室内の蒸氣及温水を底を通して煮沸室に向つて上昇する様にしたる煮繭罐の上記の底の上に周圍に向つて穿たれたる孔と之に通ずる如く室に向つて開かしめ

たる孔とを備ふる數多の通汽片を取付け其上に生繭容器を支持せしむる様にしたる煮繭器にして從來一般の此種煮繭器に於て各生繭容器を單に數多の透孔を有する底板上に直接載置せるため一部の生繭が過熱せらるゝ缺點を除きたるものなり。(四實出公第一三五六二號)

摩擦加熱孵化機

蠶卵紙を廻轉胴に取付け其の周りの一部を電熱器にて包み他の露出部に接して數個の刷子を設けて廻轉胴を廻轉することにより蠶卵を直接に電熱にて加熱すると共に之を摩擦せしむる人工孵化機にして其の効果を大ならしむるものなり。(四實出公第九六九五號)

屋外養蠶用天幕

絲入油紙を簾に張り付け之を枠に取付けたるものにして雨水の漏洩を防止し又風其他に際し天幕の剝離或は破損龜裂の憂なく不用の際は簾と共に捲きて收藏し得る屋外養蠶用天幕なり。(四實出公第九四六

生繭殺蛹貯藏法

生繭を入れる密閉室の一方の口より窒素瓦斯を壓入すると同時他の排氣孔より室内空氣を排出して室内空氣酸素含有量を稀薄ならしめたる後排氣孔を閉して是に少量の無水炭酸「アセチレン」の如き炭化水素族の瓦斯「クロールピクリン」「四塩化炭素及「アンモニア」瓦斯を供給してこの混合瓦斯の作用により殺蛹、殺蛆殺菌、並に蠶蛆及微菌の發生を防止するものにして繭質を損せず殺蛹したるまゝ乾燥又は冷蔵等の手数を要せず同一室内にて常溫常壓の下に引續き貯藏をなすことを得。(四特出公第五一八六號)

蠶兒の強壯劑

蝦性「マグネシヤ」を七分と「サルチル」酸「ソーダ」の三分とを混合せるものにして之の〇、七%溶液を桑葉約三、七五斤に撒布塗抹したるものを蠶兒に給與するものにして蠶兒の排泄機能を進せしむると共に血液の循環作用の旺盛を計り消化機能を佳

良ならしむ。(特許第八二四四二號)

漁網

長方形の網の上下兩端に近く網目を縫ひて縮網一條宛を引き通し其の中央部に各々二個の滑車を結付くると共に該各縮網に接近して更に網の一端より中央部に達する二條の復縮網を網目を縫ひて左右に引き通して其の内端部を該滑車により外方に引出し又其の外端部には各々滑車を附し前記縮網の端部を引き通し之を圓形に打廻したるとき該復縮網の外端部を互に結付け其の内端部と縮網の外端部とを索引し網の上下を縮むるものにして網の口締めを容易にして魚類の逃逸の隙を與へず悉く捕獲し得るものなり。(四特出告第三一五八號)

魚網

一定の高さを有する有底筒狀網の上口縁に底網周縁を吊下し上口縁と底網との距離を筒狀網の全高距離より短かき距離に短縮し其の短縮による筒狀網の緩みにより底網周縁の外側下方に環狀の垂袋をなさし

むる様なし之を水底に扁平狀に沈設し置き任意の時機に引紐にて引上げ網の周りに生ずる垂袋内に魚類を捕獲するものなり。(四特出公第四六五〇號)

漁網絲處理法

棕桐繩製の漁網に金、銀、白、赤、黄等の如き水中に送て判然する色を有する顔料を水に不溶性の塗料に混じて塗布したるものにして從來の魚族類威嚇用漁網の効果を一層大ならしむるものである。(特出公第二五三七號)

釣絲製造法

燃合した生糸を膠又は「ゼラチン」溶液中にて煮沸し膠質を充分纖維間に浸透せしめ之に漆を塗布し乾燥したる後「フォルマリン」にて處理するものにして從來のもの、如く膠質が膨脹して漆の剝脱する如きことなく生糸と膠及漆を一体となし防水作用を充分ならしむるものなり。(四特出公第四六七六號)

釣絲製造方法

實際綜統が下降して作動杆の廻轉を阻止し該作動杆は鈎片に作用することなく鈎片は綜統棒と共に上昇して懸支板を上方に作動し之より適宜のリング機構を経て運轉用把杆を作動して停止せしむる經系切斷防止裝置なり。(四特出公第二二六六七號)

緯絲切斷耳組裝置

緯絲を切斷すると全時に之を持行く挾切桿を箠台に設け此の挾切桿に對して緯絲を受取りて挾持する挾持桿を機台に設け之れを昇降し且つ反轉して經絲口に緯絲を組込み得る様にせるものなり。(四特出公第三三九四號)

紙テープ用「シャットル」

杆身に紙卷「テープ」を廻轉自在なる如くに挿入し一部「テープ」を通過する溝を造りて溝を通過する間に九十度の振りを生ずる如く溝を造りたる「シャットル」の構造。(四實出公第八、七一八號)

自動織機

綜統棒に棒と共に上下し且棒の下降せる際綜統の下方に廻動して鈎片を作動すべくせる作動棒を裝置し以て綜統自体を「ドロップバー」とし經絲の切斷せる

疊絲製造法

「ラミー」絲の如き麻絲を「カゼイン」溶液中に通過せしめて糊付を行ひ之を生乾きの状態にて適宜の燃を施し更に之に蠟液と「カゼイン」溶液との混溶液を附着し乾燥せしめて後「フォルマリン」を吸収せしめたるものにして適宜の柔軟性と良好なるじりを有し防水性に富む強靱なる疊絲を得らる。(五特出公第一九號)

織機に於ける經絲切斷停止裝置

綜統棒に棒と共に上下し且棒の下降せる際綜統の下方に廻動して鈎片を作動すべくせる作動棒を裝置し以て綜統自体を「ドロップバー」とし經絲の切斷せる

箴台に回動し得る如くせる臂を設け此の臂の回動により箴箱の側板を開閉動する如くし尙ほ箴押杆に突板を設け必要時に際し箴押杆を摺動推進せしめ突板により臂を回動せしめ箴箱の側板を開動し箴換運動を行ひ且つ箴押杆の原位置に復するに際し側板の閉動を助勢する如き構造にして箴体を損傷せしむることなく且つ調整容易にして高速度織機として使用し得るものなり。(四特出公第三二一五三號)

シヤットル

「シヤットル」の絲道溝の兩對側に於て鎌狀突子を上下より相對して抱合状態に嵌め込み之等を上下に調節し得る様になしたるものにして絲條が脱出する事なく又突子片に依り適度に絲條の解房に抵抗を與へ得るを以て絲條の緊張味を常に失ふことなく織節等を生ぜざるものなり。(四實出公第九九二〇號)

杼

「チップ」と杼主体との間に撥條ゴム皮革等の緩衝物質を挿み「チップ」を主体に「ネチ」を以て止め

衝撃を緩和し「ビツカー」の損傷を少からしむるものなり。(四實出公第九八三五號)

「タオル」織物に於ける換杼 聯動裂置

突起を有する連鎖と突起及突片を有する連鎖とを移行せしめ前の突起に依りて廻轉鑢を轉換せしめ之れによりて「カム」並に長齒を有する鋸齒輪を回轉せしめ且つ後の突起及突片並に前記「カム」に依り各種機構を移動せしめ以て杼函に上下動を與へ換杼せんとする「タオル」織機の換杼聯動装置にして「タオル」生地に適宜定められたる横縞模様を色素を以て自動的且つ迅速に織成せしめ得るものなり。(四特出公第四一八五號)

織機用起動及制動装置

織機の各台に起動用磁石及停轉用磁石を装置し起動用磁石の下方に之れに吸引せらるゝとき曲柄運動をなす腕杆を設けて其下端を連杆により自働杼替軸の習合機構に連絡せしめ停轉用磁石の下方に之に吸引

せらるゝとき「ウエフトハンマー」の擺動を受け停轉桿を押して起動竝に停轉機構に作動せしむる横置爪桿を設けると共に各台に電路切替装置を設け連杆により起動竝に停轉機構に連結して機台の運轉及停轉に應じて自動的に停轉用磁石及起動用磁石に電路を開閉する如くし是等各装置を具へたる織機を工場内の電源及開閉器に連絡せしめ該開閉器の操作により多數の織機を同時に起動竝に停轉する装置なり。(四特出公三二四一號)

織機捲戻装置

「ドビー」の紋板軸に於ける「ピンホキール」と關連せる又狀杆と捲軸に聯動する齒輪に係合する掣手とを手動的に操作せらるゝ操作杆の一端に連結して又狀杆と掣手とを共働せしむるものにして捲取捲戻共に常に正確なる釣合の下に操作することを得るものなり。(四特出公第一九八二號)

撚絲機構

絲の供給を中心部に於てなし且つ絲か供給装置の周

圍に環を形成する如く配置したる装置に於て絲の供給を停轉状態に保持し又は之を本機構の軸の廻轉と反對方向に廻轉せしむべき平衡磁石装置を使用しその機構を著しく簡單ならしめたるものなり。(四特出公第一四七三號)

布片截斷機

反對方向に回轉する二個の圓洞の一つに表面に無數の打抜及型を植え打抜及型の底面に適當數の孔を穿設し圓洞内に装置する壓搾空氣管より空氣を噴射せしむる様になし一方の圓洞を切台用承洞とするものにして打抜布片は型内に殘存することなく截斷作業を常に圓滑に行ひ得るものなり。(四特出公第四一七四號)

金網織機

杼摺の上を滑動する杼を有し其の杼は二個の杼移動器の内何れか一方と交替に連結さるゝ様にし該移動体の連結鉤を杼の鼻片に繋合する様杼の上方に設けられ且つ杼摺の中央に固定したる上片によりて制御

せらるゝ楨桿を以て互に調整せらるゝものにして機
の破損少なく操作確實なるものなり。(四特出公第
三九二八號)

多色捺染装置

捺染機の彫刻「ローラー」の前面に區劃を有する染
液槽を設け之に「コック」を有する噴霧器を平行
及上下に装置して各別の染液を噴射し得る様になし
別に回轉軸杆を設け之に固定したる圓板に着脱自在
となしたる「ピン」を設け之を適宜に噴霧器の「コ
ック」に關聯せしめたる多色捺染装置にして捺染「ド
ラム」の廻轉に依り自動的に噴霧器の「コック」を
開閉せしめ單一捺染「ローラー」により織布上に多
色の色彩模様を現はさんとするものなり。

動機工業

鋸鎌製造法

所要の鋼板又は鉄板の上面に適宜方法を以て細き傾
斜溝を渦巻狀に密接穿設し其中心を先端として鎌形
に斷載し而して彎形先端側を裏面より斜めに研削し
鋸鎌となすものにして材料の冗費を省き加工上の煩
累を軽減し且つ穿溝の深さを一定して鋸齒の形成を
大小なからしめ尙且端を漸次磨減するも鋸齒の形成
は最初のものと同様に持續するものなり。(四特出
公第四三〇號)

鋏

柄の先端を曲げたるものを適度の角度に變し得る様
に造りたる柄着金具に嵌め込み楔にて鋏身に固定す
るものにして使用者は適當なる角度に柄を着け樂に
作業をなし得る様考案したるものなり。(四實出公
第九七七三號)

鋏

普通鋏の柄付位置に把柄を挿入する孔を穿ち反對側
より楔を挿入し得る様にし之を止め板によりねぢ止
めなすものにして作業中把柄の抜ける恐れなく且つ
作業の種類及使用者の体格等に應じ把柄の角度を適
當に調節し得るものなり。(四實出公第一〇九九六
號)

蹄鉄

ゴム片と金網片とを互に順次縦の方向に重ね合せ壓
接したる蹄鐵にして従來の蹄鐵に比し堅牢にして耐
久力大なるものなり。(四實出公第九六七六號)

熊手

鐵製圓筒の先端を平らに打拉き其れに數個の穴を穿
ち之に數本の針金を挿入し中央より放射狀に折曲げ
之を鉄板にて固定するものにして非常に堅牢にして
雜物を掻集めるに便利なるものなり。(四實出公九
三三三一號)

熊手

形状は普通の松葉搔に同じく先端の搔杆は針金を二つ折とし燃りたるものを用ひこれを横に取付けたる梓杆に巻付ける様にしたるものにして形の崩るゝことなく耐久的なり。(五實新公第一九〇號)

火箸

火箸を稍大きくして此處に切缺突起を設け切缺部の内側邊に刃を作りたる火箸にして突起及切缺を栓抜として使用し又栓抜の内側邊を小刀として使用し得ると共に火箸の滑り止となり赤熱せる火箸を逸落し危険を及ぼすことを防止し得る等の効果あるものなり。(四實出公第一〇〇、七四號)

自動通風裝置

互に聯動し共に同一方面に廻轉する様にしたる數多の細板を一つの圓周上に配置し其の内部中央には周圍に數多の翼片を放射狀に突設した廻轉筒を設けて之に螺旋狀の送風片を取付けたる自動通風裝置なり

(四特出公第二六四二號)

紫外線應用鹵檢查器

直立又は適宜傾斜に支持し得る筒筒の上部に紫外線のみを通過せしむる「ウルターグラス」を嵌め下方側面には鹵の出入合を作り之を蓋にて密閉し得る様にし一方に側筒を取付け覗口とす、使用法は底部に鹵を入れ上部「ウルターグラス」を直接太陽光線に當て紫外線は濾過し過部の鹵に當て覗筒より之を覗視するものにして簡單なる裝置を以て紫外線検査をなし得るものなり。(五實出公第三七九號)

鹵乾燥機

鹵の載盤を列へ之を索條にて互に連絡し乾燥室内の數段の軌條を左右に迂回して無端的に循環進行せしむる様になしたる乾燥機の載盤の兩側前後に小車を備へ之れにより軌條上を轉行する様になし盤の兩側中央に軸桿を突出して索條に取付け且つ兩側中央に於て盤面に直角に上下に支腕を突設して其の先端に小導車を備へ各段の移行部には索條の導車の外方に

該支腕に備へたる導車に接觸して常に垂直位置を保ち内方に向つて之を壓迫しつゝ摺動する垂直軌條片を設けたるものにして、載盤は運行中常に水平の位置を保ち載置物の跳助する憂なきものなり。(五特公第三〇三號)

瓦斯倫計量器に於ける安全裝置

貯油槽より出づる供給管溢流管等に於て其の下部をU狀に回曲して其上部を分岐管により硝子の如き破壊し易きものを以て形成せる隔壁により分たれたる上下二室よりなる液槽に連絡し上室には不燃燒體を入れ隔壁に對しては弁又は其の破壊製造を設けて上下兩室を隨時連絡せる如くなせるものにして火災の突發に當り隔壁は人為的又自然的に破壊し或は開弁して液槽内の不燃燒體を供給管溢流管等のU狀部に送り以て外氣と貯沸槽との連絡を遮斷するものなり。(四特出公第五二三六號)

列車位置表示器

時計の下部に指針を螺旋軸にて直線運動を起さしめ其運動幅を列車出發より到着迄連絡せしめ此指針にて目盛板に記録せる驛名及時刻を指示せしむるものにして本器を列車内に裝設し列車の刻々の位置を知らしめ又列車の遅延に適應せしむる指針を調製し得る様にしたるものなり。(實出公第一〇三六一號)

爆發機關用消音裝置

機關の排氣弁が開く時機關と連通する高壓室を有し此の高壓室には自動逆止弁を設けて之れより機關へ瓦斯の逆流を避け機關より生ずる最初の高壓瓦斯のみを此れに導き低壓のものは他室へ導き外部へ放出するものにして作動「ポンプ」に及ぼす背壓を除去し機關の動率を損することなき消音機なり。(四特出公三四五五號)

黑鉛軸承用材料製造法

黑銘微細粉末を廻轉螺桿を具ふる石臼中に於て長時間練磨して軟滑性を賦與し之を前記同様の處理を施せる軟滑生蠟石微粉末と混和し此混和物を少許の礬

砂を含有せしめたる「ピッチ」を用ひて捏合せ壓搾成形後高温度に灼熱して製するものにして別段催滑劑を要せず長時間削磨せざる軸承用材料を得らる。(四特出公第三七三九號)

循環消音裝置

環狀の筒の側に廢氣の導入管を連結し筒の下部には油を満たし上部は空氣室としこゝに排氣孔を穿りたるものにして導入さるゝ廢氣は油中を通過し排氣さるゝものにして爆音を消すと共に背壓を減ずるものなり。(四特出公第三四〇九號)

焼印押捺機

台盤の上方に於て昇降桿の下端に電氣加熱裝置を有する焼印を裝置せしめ昇降機桿は足踏桿に連続せしめて足踏により常に台盤上の一定位置に降下せしむる様工夫されたる焼印押捺機にして被押捺物を台盤上の一定位置に載置せしむれば焼印の押捺位置は常に所要の位置を保ち些の狂ひを生ずることなく且つ過度に加熱せる焼印を押捺して燻焼による不鮮名な

る押捺をなす虞なく連續して簡單に焼印を爲し得るものなり。(四實出公第一〇〇〇〇號)

沈没船浮揚方法

壓搾空氣を沈没船内に送り船内に在る水の一部分を排出し他の補助浮槽又は氣囊等を使用することなく船自体に浮力を與へ自然に浮揚せしむるものにして第一に沈没船を海底に於て眞横の位置に据直すことゝ第二に沈没船が横傾状態にて水面上に浮揚したる際水平の位置を保たしむべく豫め船内に殘留せる重量物を適當に移動按配し次に甲板上の各船口の水面の向ふ方を縦に若干幅閉塞し其の部分で浮揚用氣蓄部分に利用すること第四に海水壓力に應じて壓搾空氣を各船口より船内に豫備送氣を爲し次で船首若は船尾何れかの一端より船体を斜に浮揚せしめ空氣の膨脹及逸出を巧に利用して船を眞横の儘浮揚するものにして船体を毀損することなく最も安全に浮揚作業を遂行し得るものなり。(五特出公第三二七號)

割箸製造機

摺動盤により凹溝内に送出する箸材を割溝刀、平削鉋、割溝面取刀を通過せしめ且其の進行中に箸材面を裏返す如くなし兩面を仕上げ得る機構(四特出公第一七三六號)

洗濯機

中央洗滌室及其の洗滌室を圍繞して其室下端に交通する環狀室を構成する如く相距てたる内圍壁及外圍壁と洗滌室より空氣を抽出する吸引扇車を備へ此扇車の排出側は常に大氣に開通する洗滌機にして短時間に處理品を完全に洗濯或は洗滌し得る運搬及取扱容易なる機械なり。(五特出公第二〇三號)

畑用除草機

一端を直刃として他端を丸刃とせる除草刃の中央に柄首を貫通し「ナット」により固着せる畑用除草機にして直刃部を平地に使用し丸刃部を溝地又は穴地に使用して除草作業を容易ならしむるものなり。(四實出公第一〇〇七五號)

除草機

除草機後尾の土壤表面搔均し裝置に改良を施したるものにして最先端には浮舟型の鼻板を設け第二次に搔爪を有する回動軸を架設し第三次には彎形搔爪を有する回動軸を架設したる枠金の後端に短杆を關着となしその短杆の尾部を把柄の一部に昇降可動せし

精米機用除糖機

黃蜀葵根等の如き抄紙用糊料を山葵御式に磨碎して水を注加し糊液を調製するものにして鏽目状或は丸鋸状に目を切りたる「ローラー」壓着板糊料入漏斗及注水管等より成り浸出糊料を多量に且つ簡單迅速に處理し得るものなり。(四特出公第八九三七號)

糊液製造用粉碎機

むる様になしこれに掻均し飯を有する回動軸を取付けたるものにして機体進行後の痕踏を平坦ならしむる回動軸を枠金の後端にて屈折し任意に昇降移動せしめ得るものにして使用者の身長の大小田面の土質等により調節を行ふことを得るものなり。(四特出公第八五九號)

開墾器

手押除草器の如き形状をなせるものにして台板の後部には車輪を設け下面には釣形固定の刃物及連接桿にて刃先を上下し得る如くなせる鎌形刃物とを有するものにして釣形刃物にて土を掘起すと共に鎌形刃物にて土中の木根等を切断し得る様になしたるものなり。(四實出公第九一〇一號)

耕耘機

亂生せる植物又は土壤を切断し之を攪拌する装置と一定距離に於て自動向替装置と進行を自在に調節し得る負荷調節盤との三要部を具備し自動的に移動し耕作をなすもの。(特出公第二八二一六號)

製粉機

在來の製粉機の如く金屬製の圓形の外面と其の内側に横の條目を有する鋼鉄板を張り轉軸には放射狀に廻送板と架脚とを有し架脚には横條目を有する「ロール」を架し轉軸の廻轉により「ロール」と鋼鉄板とは摩擦し製粉するものなり、而して本機の特徴とする所は外面と鋼鉄板との間に木板を張り製粉中に發する甚しき騒響を此の木板に依り防止せんとするものなり。(四實出公第九一八九號)

扱摺白

強靱なる護謨質の經白齒と此れより稍弱き護謨質の緯白齒とを適宜の角度に交叉密着し其の網目中には一層磨滅し易きものを填充するものにして從來のもの、如く未脱稗物の速かに逸出するを防止脱稗能率を増加せしむると共に網目状なるため外力に抵抗する力強く白齒の剥脱することなきなり。(四實出公第九四三二號)

穀物の定量俵詰装置

取付けたるものにして水田又は泥沼耕地の耕耘に適するものなり。(四特出公第四四九號)

俵締機

數個の半圓形杆を横杆により連結して船型機体となし各半圓形杆の兩端部一側に楕形の段鉤を取付け別に兩端に壓杆を付せる網を半圓形杆の數丈け備へたるものにして使用の場合機体を前後何れかに傾倒して俵を掬ひ入れたる後繩を俵に巻付け一方に壓杆に掛け他方の壓杆を手に持ち機体を前後に動揺しつゝ俵を壓下せば俵は漸次締めまり適當の所にて前記段鉤に掛け向壓しつゝ順次の段鉤に引掛け締付くるものにして俵を擦傷すること少く且勞力を節約し作業を完全迅速になし得るものなり(五實出公第二二號)

製茶用輾繰揉機

倒U字型組棒の各下端に二個の揉版を八字型に取付け更に其の各先端を四個に分ちて連動する様にし茶の仕上揉操作中揉版を適宜縮少せしめ茶葉に對し萬遍なく壓力を加へ仕上揉する様工夫されたる製茶用

撰穀機の漏斗の下方に衡器を配置し衡器の台盤上に二條の「レール」を設け其の左右に此れと接する位置に「レール」を取付け此の軌條の上に二個の内部を漏斗形に作りたる計量車を配置し其の漏斗形の下部に排出口あり此れを挺を有する弁に依り閉鎖する様になしたるものにして二個交互に操作をなし得るものにして構造簡單なる俵詰装置なり。(四實出公第九三八三號)

自動廻轉装置を備ふる製繩機の合撚管

製繩機械の合撚管を製繩作業中繩自体の力にて自動的に廻轉せしむる装置にして摺動の主要部たる合撚口に轉廻装置を設け無理なる横摺を除きたる機構にして美麗なる製品を得らる(四特出公第三〇四五號)

飛行機を應用する耕耘機

任意に傾斜回動せしめ得べき主翼を有する飛行機体の中央部に架着したる機の兩端又は一端に先端を適宜の角度に傾斜せしめ且つ上下當適の位置に犁鎌を

輾線採機械にして短時間に好く採捻を完成し品質を優良ならしむるものなり。(四實出公第九六二二號)

茶葉採捻仕上機

中央に深き溝を設け其兩側に生子板状を爲せる數條の半圓棒を突圓状を爲す如く併列せしめ其兩側に板を垂下せしめ且前記溝より稍々離れて採捻「ロール」を取付けたる採捻用動搖器を凹圓孤状にして且つ生子板状を爲せる採捻台と相對して設けたるものにして茶葉採捻を完全にし而も茶葉間の熱氣と外氣との交換を良好にし何等蒸し作用を惹起せず優良なる茶を得らるゝものなり。(四特出公第四四七〇號)

電磁石に吸引さるゝ鐵片に時限性を與ふる裝置

電磁石に吸引さるゝ鐵片に空子を有する垂直軸を取付け二個の對立せる傾斜周邊「カム」面を端部に有する固定圓筒の中心を該垂直軸にて貫通し突子は圓筒の「カム」面間の空隙中に緩挿せしめたるものにして簡單にして動作確實なるものなり。(四特出公

第四八四二號)

鉛蓄電池

電解に依り鉛鹽水溶液より「アルミニウム」等の金屬板上に析出電鍍せる鉛を剝離して得らるゝ鉛箔を多數重合して蓄電池極板とするものにして從來の鉛蓄電池に比し著しく重量を軽減し蓄電電量を大ならしむるものなり。(特許第八二六七九號)

電氣開閉器の改良

接觸部分可動開閉部と該開閉部の一端を接觸部の近くに來る様之を動かさしむる裝置と開閉部の端部を接觸部に對して壓入せしむる裝置、開閉部の端部が接觸部に接近する迄壓入裝置の作動を確實に防止する裝置とを有する電氣開閉器にして其接觸部又は接合部が腐蝕し又は氷に依りて覆はるるも尙容易に開閉し得ると共に其接觸部に懸合すべき可動部の諸部分の開閉器の閉口を妨害せざる如き特性を有する開閉器なり。(四特出公第四六四四號)

電燈調節裝置

絶縁物にて作りたる電流計の如き外形をなせる主体の外筒に抵抗線を巻き付け適當の回数を増す毎に主体の表面に設けたる數個の接觸子に接觸せしむ、而して此等接觸子に接觸せしめ得る様に回轉接觸杆を軸着けし左右に廻轉し得る様になしたるものにして之れに依り抵抗を加減し電燈の光度を調節するものにして構造簡單にして製作容易なれば價亦廉にして自轉車電燈に應用して便利なるものなり。(四實出公第一一一三二號)

水力扇風機

水車の外周を包む水車筐と其の下部に設けたる水溜筐とに涉つて前後兩端に透明硝子板又は透明「セルロイド」板を取付けたる水力扇風機にして透明板を透して水力の廻轉水滴飛沫及流水等を透視することにより一層冷氣を感じ或は硝子の表面冷却せられ清涼なる空氣を送風する等の効果を有するものなり。(四實出公第九九五號)

電氣扇風機風角調整裝置

首振型電氣扇風機の傳動用齒輪上の曲肱栓を齒輪中心に對し其の距離を數種の首振運動量に適合する位置に自由に變換し得る様に調整心棒を齒輪の偏心位置に縦に貫通せしめ其上端に把手及指針を定着し下端は曲肱及曲肱栓を形成せしめ該心棒と該齒輪とを結合すべく嵌脱栓を心棒上に定着し齒輪の下端には調整に適合する數枚の串型齒を刻設し且發條を齒輪の上下の中間に裝備したるものなり。(四特出公第三七三一號)

「オイルスツチ」の案内裝置

「オイルスツチ」の側壁の内面及「ナイフホルダー」の側面に互に關聯すべき凸條及凹條を形成し「ナイフホルダー」に關聯せる把手の起倒により「ナイフ」を一定の軌條に従て昇降せしめ且「ナイフホルダー」を其儘器外に引出し得る様になしたるものにして把手の起倒により「ナイフホルダー」を一定の軌條に従つて昇降せしめ「ナイフ」と受刀の中心相違を防ぎ接觸不良により電氣的熱度の發生を防止し且内部の掃除修理等を容易ならしむるなり。

(四特出公第三三五九號)

航空用探索機

霧に對し透過力大なる熱線及熱線に感ずる物質を同一機構上に設備し物体より發射或は反射する熱線を感受側に於て機械的方法によりて變調し交番電流となし之を音響として檢出し該音響の變化状態により或は音響の發生することに依りて進路の前方に於ける障礙物体の存在を知り之を之れに接近しつつありや否やを知るものにして霧中飛行に伴ふ災害を未然に防止し得るものなり。(四特出公第三〇九九號)

せる電動機急停止装置。(四特出公第二九二四號)

電動機急停止装置

急停止用押釦を押すことに依り常用開閉器を逆電流送入口として起動せしむると同時に電動機の二次回路の短絡を開き起動抵抗を挿入して後逆電流側に接続し次に電動機停止を起動の原因として動作する逆電流制御器に依りて逆電流側の接觸子を移動して開閉器の可動接觸子より引離し逆電流を遮断する如く

化學工業

紙料製造法

木材、竹、「バカス」、藁類の如きバルブ原料を豫め硫化曹達の水溶液にて其の原形を保持せる状態に處理したる後之を塩素處理することによりて品質優良なる「バルブ」を歩留り多く製造する方法。(四特出公第二九四一號)

製紙原料製造方法

石鹼類を以て「テレピン」油の「エマルジョン」を作り之を「アルカリ」で處理したる反故紙(新聞紙の如き)に加へて其印刷「インク」を除去するもので經濟的に製紙原料を造らんとするものである。(四特出公第二、八〇〇號)

「バルブ」精製法の改良

「リグニン」質を含有する未晒「バルブ」を適當量の塩素水にて處理し「リグニン」を塩素化合物とな

し併せて「バルブ」中の變質纖維素を更に酸化し「アルカリ」可溶性物質となし然る後「アンモニア」水或は「アンモニア」と苛性曹達の混合液にて加熱處理し「リグニン」の塩素化合物及變質纖維素の一部を容易に溶解除去するものなり。(四特出公第一三七二號)

纖維素原料を塩素處理する方法

塩素處理に依り「バルブ」を製造する場合に纖維素原料を收容せる密閉室に塩素瓦斯を導入し或は該密閉室より塩素瓦斯を排除するとき水又は塩化物其他の鹽類溶液を置換用に供し同時に塩素導入に際して生成する減壓を利用し纖維素原料と塩素瓦斯とを均一に接觸せしめ堆積原料の組織内部まで充分均一に作用せしめ且空氣によりて塩素瓦斯の稀薄せらるゝを防ぎ經濟的に纖維素原料の塩素處理を行ふものなり。(四特出公第四四四號)

「セ」ハルト「セ」等より「セルローズ」を製造する方法

原料に存する粘質物を破壊せざる様攝氏一〇〇度以上一四〇度以下にて原料に硫化曹達及苛性曹達を加へ約三時間蒸煮し其の完了後攝氏五〇度にて於て「セルローズ」より廢液を分離し以て原料中に存する粘質物を「セルローズ」中にそのまゝの状態にて殘留せしめ「セルローズ」を製造するものにして原料中に含有する粘質物を破壊することなくそのまゝ「セルローズ」中に殘留せしめ之を利用して各種の紙を容易に製造し得るものなり。(五特出公第一六六號)

製紙用「サイズ」製造法

松脂に苛性「ソーダ」水溶液を加へて煮沸し之れを完全に鹼化したる後之に過燐酸石灰を加へて松脂石鹼を分解して微粒狀遊離松脂を造り「サイズ」となるものにして松脂石鹼は過燐酸石灰の作用により特に微粒狀遊離松脂となるを以て從來の如く明礬による分解を必要とせず直ちに紙料中に混じ得るのみなり。

らす明礬使用の場合の如く別々に紙料を洗滌する必要なく「ネリ」にも何等影響なし。(四特出公第四三四五號)

抄紙用糊液調製機

黃蜀葵根等の如き抄紙用糊料を表面速度の異なる二個の轉子の作用に依り磨碎し水を注加し糊液を調製する如くなしたるものにして「ロール」表面には任意狀の齒を切り兩側には糊料の溢出を防止する様壁板を固着し又糊料入漏斗はその容積を「ネヂ」を以て自由に調節し得る様になす、機を回轉するとき糊料は二つの「ロール」の中に習み込み表面速度の大なる「ロール」の齒にて磨碎され「ロール」の面に附着し下方に轉回し洗滌管よりの放水に依り洗ひ落し出口に來りこの濾過機を通過し搾出す糊液調製機なり。(五實出公第二四〇號)

黃蜀葵根貯藏法

和紙抄造用黃蜀葵根莖を殺菌力を有し且つ二酸化炭

素によりて沈澱性炭素塩に變する如き金屬捕類例へば醋酸鉛の適宜濃度の水溶液にて處理殺菌し之に二酸化炭素を作用せしめて切口並に表皮に滲透せる醋酸鉛を被覆力大なる炭酸鉛の如き塩類に變化せしめ粘液有効成分の外界より影響變質せらるゝを遮斷し且使用に際し醋酸を注加して醋酸鉛を再成せしめ粘度減退を防止するものなり。(四特出公第五〇六號)

強力紙抄造法

丸網を用ひて抄紙する場合に「バルブ」浴中に於て廻轉丸網の周圍に對し之に近く多數の細孔を備ふる導管又は包匣を上下左右に摺動する様に取付け壓搾空氣又は水蒸氣又は加壓水の如き壓力を有する流体を其壓力並に噴射方向を適宜に調節しつゝ吹き付け網目に附着しつゝある纖維は渦流運動を附與せしむるものにして纖維は充分摺み合ひ「フェルチング」を起し縦横に扯斷力均一なる強力紙を抄造し得らる。(四特出公第三九二五號)

強靱紙抄造法

長網又は丸網式に依り抄造せる紙匹を二組の「プレス、ロール」に通過する間に於て二枚の無端帶にて挾持し平板上を運行せしめつゝ上層の無端帶の上より摺動又は廻轉する摺揉機構に依り機械的に摺揉し不規則にして微細なる皺襞を生せしめ後乾燥して強靱なる紙を抄造するものなり。(四特出公第二五九〇號)

透模様紙製造方法

壓搾「ロール」廻轉と共同的進退運動をなす印面台板を具へたる機構を裝置し「クレール」又は炭酸「マグネシウム」或はそれと同効果ある他の粉を各單獨に又は適宜に混和したるものを比較的少量に含有する紙片を前記印面に乾燥性油を塗布して壓搾印刷を行ひ印壓部分を不加壓部分より暗帯色に變化せしむると共に稍や透明狀を呈せしむるものにして之れは抄紙工程に於て不可能とする綿密なる畫繪又は細線を必要とする透模様を容易に形成せしめ得るものなり。(四特出公第四三六二號)

長網抄紙機に依りて特種模様紙を抄造する方法

長網抄紙機に於ける「スライス」の附近に本紙匹と色相又は性質を異にせる紙料の槽を設け本紙匹が未だ紙層の成形を完了せざる内に本紙匹上に前記槽内の紙料を漉掛くるものにして「シェーク、ポスト」に依る金網の振動を利用し極めて簡便に而も高速度に異種紙匹を美麗なる模様をなさしめて本紙匹上に層着せしむるものなり。(四特出公第四六九三號)

紙に透を入るゝ方法

適當に濡らしたる紙の上下に乾燥せる普通の紙を當て順次之を重ね合して空氣の流通と光線を断ちたる室内に收藏して上下の乾燥せる紙と先に濡らしたる紙とが均等に濕潤するを待ちて表面に薄紙又は薄紙と織物とを順次に張設したる金屬型に上記濕潤せる紙を載せ該金屬型の裏面は支持台紙に接着し之を加熱「ロール」により壓縮して紙に透を入るゝものにして操作簡單にして紙に透又は之と織物の組織との結合せる透を得るものなり。(四特出公第四二七五號)

漉入安全紙手漉法

通常の分析用濾紙を尿素を含有せる硝酸及硫酸の混合物中に短時間浸漬し酸の作用によりて紙を組織する纖維を膨潤膠化せしめたる後水洗して製造するものにして硝酸及硫酸の混和物を作用する場合尿素の存在に依り硝酸による酸化作用を防止し濾紙中に酸化纖維を生成せしめす且つ濃厚なる酸及「アルカリ」溶液に遇ふも影響少き濾紙を得らるゝなり。(四特出公第四二七三號)

透明紙製造方法

流動「パラフィン」に少量の「オリブ」油及香料調味粉末を配合し是を紙の表面より塗布し該紙を未だ塗液を塗布せざる紙と一枚置に重合安置して透明紙を製造する方法にして火熱を使用することなく極めて簡単に食料品の包装に適する透明紙を製造するものなり。(四特出公第一九六八號)

箔紙製造法

原紙の表面に葛に布海台を混じたる糊料を塗布し下糊を施し次に「ロール」又は刷毛にて漆を塗布乾燥

漉入模型を貼装せる漉網桁を用ひ二種の異色纖維紙料を二段に連續して酌上げ特に第一段を薄層に第二段を厚層に漉上げ所謂漉合紙層を形成せしむるものにして普通の漉入紙に比し透視を要せずして漉入模様を一見明瞭ならしめ複雑なる模様の漉入に於ても輪廓極めて明瞭に表現し得るなり。(四特出公二七四四號)

「ゼラチンペーパー」製造法

硝子面に油質物を塗布し之に有機性若くは無機性の微細末を撒布し布帛にて拭取り之を水平に支持したる面に「ゼラチン」又は精製膠溶液を注加し氣流に依り均一に擴布し凝固せしめたる後「ゼラチン」塗布面を下方に向け水平線に對して傾斜せる位置を保持し温度高き霧圍氣中にて加熱しつゝ水平方向に吹込みたる送風に觸れしめ乾燥するものにして光線を吸收すること少く大形無疵の「ゼラチンフィルム」を簡単に製造し得るものなり。(五特出公第一二二號)

硬質濾紙製造法

し更に薄く漆を塗布しつゝ、金銀箔等を貼附するものにして金銀箔等の原料となす如き艶麗なる光澤を具ふる箔紙を得らるゝなり。(特許第八二六七三號)

板紙製造法

生薑の莖及葉を原料とし適當に自然醱酵をなさしめ之を叩解し通常の糞に依りて製造せる板紙原料に添加混合して製造するものにしてアルカリ處理の必要無き原料を使用する爲製品の強韌度を増加し且つ安價に製造し得るなり。(四特出公第三〇一六號)

文庫紙製造法

紙抄原料液に「ゼラチン」と色素を加へたる薄き膠泥を緊張せる布面に蒸氣又は壓縮氣に依り強く吹付け之を熱「ロール」の間を通し壓搾乾燥したる後「フォルマリン」蒸氣を作用せしむるものにして防水性にして耐久力ある文庫紙を得らる。(四特出公第三三六六號)

三色版印刷用和紙

藁、麻、楮等の一種又は數種の遊離狀叩解を施したる纖維を主とし之に「バルブ」を加へ漉造したる基礎組織上に三極、雁皮等の一種又は數種の粘狀叩解を施したる上掛纖維を漉き掛けたるものを壓搾乾燥及「ロール」掛をなし或は更に膠、樹脂礬土等の液を以て「サイズ」したるものにして從來の「アート」紙の如く多量の充填料或は礦物質塗料層なきため印刷用「インキ」の塗着及吸着良好にして且質強靱なるものなり。(四特出公第三九一一號)

石版製版用轉寫紙製造法

「エーテル」又は「アセトン」にて溶解せる「コロホニウム」溶液に更に揮發油を加へた溶液中に重ね合せたる原紙を浸漬し之を壓搾し後一枚宛剝離し其の表面に澱粉、樹脂、又は「ゴム」質物を塗布したるものにして粘着性を減じ製造容易に且製品に斑を生ずる憂なし。(四特出公第三四九二號)

謄寫印版紙

特に水和作用を受けしめたる纖維紙料に普通に叩解

したる日本紙抄造用の紙料を配合し之れに「ネリ」液を加へて抄造したる薄葉紙を原料紙とし之に適當の謄寫印版紙用塗劑を施したるもの。(四特出公第一七六號)

謄寫印版紙

「パラフィン」蠟を主成分とし之れに合成蠟を配合せしめて得べき塗劑を薄紙に塗布若くは含蓄せしめたる謄寫印版紙にして強靱性に富み容易に鮮明なる原版を與ふる所の印版紙を得らる。(特許第八三八二九號)

轉寫紙製造法

台紙に無色又は白色の印刷「インキ」等にて模様を印刷し其上に樹脂の「グリセリンエステル」に着色料を配合せるものを撒布するか若くは樹脂の「グリセリンエステル」の揮發性溶液中に着色料を配合せる泥狀にて盛上げ印刷等を行ひて轉寫層を設くるものにして之を加熱するときは容易に熔融して他物の表面に膠着し靱性及可燒性に富み鮮明なる轉寫面を

得らるゝものなり。(四特出公第四一一九號)

傘紙

四枚にて一個の傘を張り得る如き扇形に抄造し抄造の場合直線部の一端を一寸位折返したるものにして蛇目等の染色を要する場合は折返したる強靱部を挾具にて挟み乾燥し得、紙が切斷破損する憂なく便利なるものなり。(四實出公第一一九二九號)

植物性粘液應用傘紙染色法

黃蜀葵根又は「ノリウツギ」の樹皮より浸出せる儘の高粘度の植物性粘液に染料又は顔料を溶解混和したる液にて傘紙を染色するものにして紙質強靱にして濃淡斑点及び刷毛目を印せざる低廉なる染色傘紙を得らる。(四特出公第三九六四號)

鋸屑利用美術抄造方法

「アルカリ」溶液又は重亞硫酸鹽類溶液等の蒸餾劑を使用すること無く鋸屑を單に高熱の下に蒸餾處理を行ひ叩解し之れに少量の木材纖維紙料を加へて鋸

屑の原形を存せしめて抄紙するものにして鋸屑を其儘に利用して凹凸ある極めて雅趣に富みたる壁紙等の美術紙を得んとするものなり。(四特出公第三七五二號)

金屬又は硬質物の粉末を手漉によりて紙狀に抄造する方法

先づ漉桁の漉網面上に極めて稀薄なる純纖維紙料の薄紙膜を漉上げ其上に金屬細粉又は礦物質細粉に少量の纖維紙料を添加調合したる資料液を漉掛け若は其上に更に純纖維紙料による薄紙膜を漉掛くる金屬又は礦物質の粉末を手漉により紙狀に抄造する方法にして纖維配列方向が縦に偏することなく製品の強さ縦横に不同なからしめ且つ製品の厚さを隨意に増加して厚き製品抄造を可能ならしむるものなり。(四特出公第五〇九三號)

織布代用紙製造法

紙綿或は紙綿と柔靱性紙を「ゴム」液に浸漬したるものを其儘重合するか或は前記浸漬したるものに浸

潰せざる紙綿或は柔靱性紙を重合したる後之を皺縮し然る後壓搾型成したるものにして強靱にして防水性なる綿布、麻布等の代用品を廉價に得らる。(特許第八三八六三號)

絹紙の製造法

薄く開綿したる絹毛羽を豫め「メチールアルコール」と「モノボール」油とを含む第一液中に通じて後「カゼイン」礬砂及び寒天を含む第二液中に通すか又は直接に第一液と第二液との混合液中に通し之を「ロール」にて壓搾して紙状となしたる後明礬と石鹼との混合液中に通すものにして蠶業の副生物なる毛羽等の廢纖維を利用して襖紙等に使用する強靱なる絹紙を製造するものなり。(四特出公第三〇七二號)

包装用紙袋

防水性にして強靱なる正方形の紙の中央部に井桁に紙「テープ」を重ね其の上に中央に十字形に紙を貼付けこの十字形の邊を折目として箱形を作るものにして四隅の剩餘部分を縫ひ合せ作るものなり。(四

實出公第一一一二號)

セメント用紙袋

數層よりなる左右兩側を少許内方に折込みたる紙袋の一側上方の折込部に下部が弧状をなす様切截部を設け袋の内面に一枚又は數層の紙片を切截部を覆ふ様其下部に於て貼着し之を袋の内方に折り曲げて疊み込み上下兩縁を縫着したるものにして切截部下部よりする破裂を防止し且つ貼附紙を内方に折曲げ疊み込みたる爲め「セメント」吹込に何等の支障なく且つ「セメント」充滿の際は完全なる不還弁の要をなすものなり。(四實出公第一三三九七號)

植物纖維質物處理法

植物纖維に未熟若しくは僅かに熟成せしめたる「グイスコース」液を塗布し硫酸三〇%以上を含有する硫酸を主劑とせる沈澱液にて「グイスコース」膜を形成せしむると同時に被塗纖維を「パーチメント」紙「ズ」せしむる紙又は布の如き植物纖維質物の處理法なり。(特出公第三二一九三號)

紙製「ダブルカラー」

紙製「ダブルカラー」の前部止孔附近にL形補強片を固着し且つ「ネクタイ」の滑動を助くると共に上下するを防止する爲多數の突條を作りたるものにして「ネクタイ」を結ぶ時前方止孔、側縁部等の破損することなく又「ネクタイ」の滑りよく又上下することなく工夫したるものなり。(四特出公第一一八九一號)

紙紐

紙を細條に截斷し其の兩側縁を糊料を以て合着し管狀体に形成し管の中心部に綿糸、麻糸其他の線條を挿入し次に扁平帶となる如く之を適宜の方法にて挾壓し更に断面合掌狀に屈折し其の上下表面に波狀の裝溝を印壓して作りたるものにして工作容易にして大量に機械的に製造し得るものなり。(四實出公第一四一五九號)

製紙機械

一個の乾燥用圓場と此圓場及導轆機間に押壓裝置を設け、該押壓裝置に上部及下部乾燥用「フェルト」を設けたる機械にして、該押壓部分は少くとも二組以上の連續せる壓轆機より成り總ての該壓轆機に共通の上部「フェルト」を設け此の上部「フェルト」を一個或はそれ以上の轆機に依りて前記一個の乾燥圓場に向ひ押壓せしめ且つ各組の壓轆機に各別の下部「フェルト」を設くることを特徴とするものにして作業速度大にして紙布を押壓裝置より乾燥用圓場に自動的に誘導し得るものなり。(五特出公第九三號)

丸網抄紙機の改良

丸網抄紙機に於ける漉網圓筒の軸の位置を漉槽内に設けたる断面半圓狀隔板に對し該隔板と同一圓心に据ゆることなく少しく後方に偏せしめ且其の偏心位置(偏心距離)を移動し得しめ當該偏心距離を抄出紙の厚さに正比例し使用紙料液の濃度に反比例して適度に調節し得る様になしたるもの。(四特出公第二六七九號)

丸網式抄紙機

漉槽内に半圓形の隔板を設け隔板内に漉網を横架し漉網の一侧上部に抄紙室を設け漉槽より抄紙室の底部に開口せる流通路を形成し抄紙室には八字形の翼を有する攪拌器を横架せる丸網抄紙機にして狭き範圍にて攪拌し漉網に抄着せしむるに依り纖維を縦横斜に交錯抄着し水の濾過を急激ならしめて糊の節約を圖り抄紙室の底部に流通路を設けたるを以て紙料纖維の沈澱することなからしめたるものなり。(四特出公第五一〇六號)

丸網抄紙機械に於ける「バツト」の改良

「ワイヤシリンダー」の周圍に添ひたる「セツクル」に堰板と之れに護膜或は布を以て「アブロン」を取付け堰板の上方に「スライヌ」を備ふるものにして纖維を均齊にし且つ高速度に楮皮、雁皮等の長き纖維を以て優良和紙類を抄造するものなり。(四特出公第三一四七號)

漉合せ抄紙法

長網抄紙機金網上に体紙と別種の纖維及色相により調製せる原料紙を輸送供給すべき一個若くは數個の金網「ロール」を載荷して廻轉せしめ漉合せを行ふものにして強靱にして優雅に富める漉合せ紙を高速度にて抄造し得らるなり。(四特出公第三八八二號)

製紙機用「ロール」

従來の「ペーパーマシン」に使用せる「ダブルカッター」の紙送り「ロール」は鉄芯の表面に眞鍮の螺旋を作りたるものなるが本案は鐵芯の表面に「エポナイト」を貼付し更に其の上に「ゴム」を螺旋形に纏捲したるものにして従來のもの、如く摩擦に依り電氣を生ずることなく作業圓滑に行はれ耐久力大なるものなり。(四實出公第八〇五六號)

製紙機用「テーブルロール」

縦方向に断面角形の中空膨出條を形成せしめたる帶狀金屬版を圓場周に沿ひ螺旋狀に纏捲し相接する兩

出公第四九五一號)

製紙乾燥器

倒蒲鋒狀に成形せる中空の貼紙胴を架構に載架し貼紙胴の一侧には通路に依り連絡する内外の二重胴より成り内胴内に火爐を設けたる蒸氣發生罐を貼紙胴の下面に接して適宜の蒸氣通路により連通せしめて設置し火爐の煙管は内胴より貼紙胴内を通過して器外に導かれ煙管内には外胴に接続する蒸氣管を導入し又貼紙胴の他側端に開口する廢氣管を設けたるものにして燃料費を節約すること多大なるのみならず煙管内に蒸氣を導きたるを以て煤煙を發生せず貼紙に斑点を生ずることなし。(四實出公第一一七四八號)

抄紙原液の濃淡並に流速の

不平均を調整する装置

抄紙機械の「フローボックス」中又は「ワイヤーバード」の「スライヌ」間の適宜の位置に於て其通路を遮りて全周に無數の細孔を穿通せる蜂巢「ロー

長側を順次熔着する事に依り中空角螺旋を周圍に形成せしめたるものにして抄紙網に振動を與ふる事なく軽くして取扱易く動力を節約し廻轉圓滑なる「テーブルロール」なり。(四特出公第三九三二號)

透漉込み型

文字圖形模様を刻いたる金屬型の表面に薄紙又は薄紙と編織物とを張り其の裏面は支持台紙に接着し兩型の周圍に支持縁を具備せしめて紙の壓搾度合を加減して透の度合を加減調節するものにして半透明の透又は之と編織物の組織とを結合したる透漉込み型なり。(四特出公第三九三〇號)

手漉用下桁

手漉用下桁の枠の兩縁の中央部を高くし兩端を低くし該兩縁の勾配に準じて之と同一の角度を有する數個の支杆を側縁間に架設し支杆の上面には多數の細杆を横架して支杆と細杆との交叉により網目狀を形成したる手漉用下桁にして在來の典具帖紙の抄造に際し生ずる星狀の斑点を除去するものなり。(四特

ル」に装設し「ワイヤースピード」に適應して之を回轉せしめ抄紙原液の濃淡並に流速の不均等を調整するものなり。(四特出公第四二五三號)

製紙機械に原料を供給する装置

廻轉配分体が供給槽中に於て流出口に近接し其の周邊は槽の前壁並に底面に極めて接近して設け且つ導羽根或は方向轉換機が配分体の周邊に接近して流出口より遠ざかれる側に設けられ且つ配分体に平行なる軸の周圍に廻轉し且移動し得べくなくしたるものにして原料の流均一にして且つ正しき密度を保持し質の均一なる紙を製造し得るなり。(四特出公第三八二二號)

テープ入包装紙製造装置

適當の間隔を有して設置せる送出轉子の上方なる「テープ」送出用轉子の線速度は下方なる紙布送出用轉子の夫れよりも大となし前記の送出用轉子に連りて設置せる仕上用轉子の線速度は前記紙布送出用轉

子の線速度と等しからしめ而して前記「テープ」送出用轉子は仕上用轉子に遠ざかるに従ひて其の線速度を大ならしむるにあり。(四特出公第三二〇九號)

テープ吊

Z形に曲げたる針金の一端を「パイプ」又は中心に貫通孔を有する座金の周りに棒状に取付け之を軸の中央に目釘を設け且つ先端をU字形に打曲げて「テープ」を夾持する様形成したる吊金具に挿し込みたる「テープ」吊にして棒状にて卷上げたる「テープ」を吊金具の上方より挿込みU字部より此の「テープ」を引出すものなり。(四實公第九五一九號)

傘紙貼器

傘の「ロクロ」に嵌むる「ロクロ」環と之に釣鉤にて取付けたる圓錐形の傘紙壓着錘片とより成るものにして先づ「ロクロ」環を「ロクロ」に嵌め傘紙は錘片に巻き傘骨に貼付するものにしてこの錘の自重に依り具合良く貼付するを得るものなり。(四實出公第一一四九五號)

安全黒色「インキ」

酒精及「ホルマリン」を「カーボンブラック」に注ぎ其輕粗なる性質を沈定せしめ之に「アラビヤゴム」漿及石炭酸の適量を加へ煉合し更に便宜之に黒色直接染料の水溶液を加へて其色相を調整せる安全黒色「インキ」にして「インキ」消液其他の化學藥品に作用せられず又機械的摩擦にも剝離することなく耐水耐酸耐「アルカリ」性にして而も萬年筆及普通「ペン」嘴よりの流出輕快なる黒色「インキ」を得らる。(四特出公第四八一八號)

「チタンインク」製造法

黄色血濁鹽又は赤色濁鹽に「チタニウム」鹽類の水溶液を加へ充分攪拌して青色の色素を析出せしめ之を濾別水洗し低壓により乾燥せしめて得たる青色の粉末に稀酸「チタニウム」を加へ少量の水にて研和し適量の水にて稀釋し製するものにして永く變色せず又「インキ」滓の沈澱物滯溜することなく「ペン」先の腐蝕を防止し得るなり。(特許第八二八八七號)

印刷用水「インキ」

水に「グリセリン」醋酸、飴及所要の顔料を加へて作る印刷用水「インキ」にして活版印刷用として適當なるものなり。(四特出公第三〇一三號)

印刷「インキ」製造用母劑

植物油類殊に大豆油又は棉實油を石灰或は「アルカリ」にて精製する際折出し來る油滓を硫酸にて處理し得たる再製油脂を更に分留して脂肪酸を餾取し去りたる殘滓とを混和したるものにして少量の樹脂又は顔料或は脂肪油、礦物性油、揮發性油類並に水分等の添加加減により石版、活版、謄寫版、輪轉機等凡ての印刷「インキ」に對し好適品を廉價に得らる。(特許第八三八八四號)

防焦化粧液製造法

蜂蜜の稀釋したるものを「レモン」汁にて酸性とし醱酵を起さしめ所要の酒精を生成せるとき硼酸及過酸化水素水を添加して醱酵を防止し之を濾過精製す

るものにして諸資料は完全に醇化し芳香優雅にして皮膚の營養と美化を兼ねたる防焦化粧液を得らる。(四特出公第四一〇二二號)

膠狀性を有する煉香油の製法

「スルフォン」化粧物不乾燥性の加里石鹼と曹達石鹼との無水混合物を植物不乾燥性油に煉合し之に香料を添加せるものにして水或は温湯にて膠狀となり頭髮の洗滌に際し洗髮料を節約し脂肪及垢の除去を容易ならしむるものなり。(四特出公第五〇八九號)

油脂を配給せる水白粉の製造

細微なる白色顔料に卵黄酒精抽出液と「グリセリン」を混和したるものに乳酸にて弱酸性とせる水を配合せしめて水白粉を製する方法にして普通水白粉中の顔料粒子が時日と共に粗大となり遂に器底に固着するの欠点を除き常に顔料粒子を細微なる膠質狀に保ち然も皮膚に塗布して延び及着き工合良く化粧くづれの少なき特長ある水白粉を得らる。(四特出公第四七九八號)

固練白粉製造方法

亞鉛華に「タルク」を加へたる白色顔料と「ワセリン」との混合物に「ステアリン」酸曹達を主成分とする「クリーム」狀物「グゼリン」單舍利別、水、「アルコール」、米糠より抽出せる有機磷酸鹽類「サルチル」酸曹達、安息香酸曹達等を加へ充分に捏合して製するものにして長時間の保存に耐ふるものなり。(四特出公第三二七六號)

化粧用「クリーム」の製法

卵黄の酒精抽出物に「グリセリン」水及白蠟を加熱溶解し之れに香料を加へて製するものにして卵黄より抽出せる「レンチン」及び油脂を乳化劑とし皮膚に吸収され易き良質の化粧用「クリーム」を得らる。(四特出公第四七七八號)

硬化油より優良石鹼の製造法

水素添加植物油に重合油を混じ之を「アルカリ」にて鹼化し又は硬化植物油石鹼に重合油石鹼を配合し

る。(特許第八四一七五號)

白毛染製造法

動物性纖維用染料「ノアルナフタリン」と「ウールブラウン」と水酸化「カルシウム」と炭酸「マグネシウム」炭酸「カルシウム」白陶土の一種又は二種以上を混和したるものに水を加へて充分練り混ぜ水飴狀の粘液となすものにして使用簡便にして「カブレ」憂なく自然黒髪の様き色澤に染め得るなり。(四特出公第三五六七號)

粉末黒色毛染劑

「パラフェニレンヂアミン」と酒石酸或は枸橼酸と過酸化「バリウム」或は過硼酸鹽類との各粉末に「タプ」樹葉粉末を混和したるものにして貯藏中に酸化作用を防止し得ると緩慢なる化學變化の下に「パラフェニレンヂアミノ」を完全に酸化し得る特徴を有するものなり。(四特出公第五〇二二號)

染毛劑

たる後市販石鹼の形狀を造ることを特徴とする石鹼製造法にして硬化油又は之を主原料とする石鹼に優良なる起泡力及洗淨力を有せしむると同時に適度の溶解度、硬度、強靱性等を附與せしむるものなり。(特許第八三二五九三號)

「クリーム」狀石鹼の製造法

普通の石鹼を「アルコール」に溶解して之に寒天溶液を加へて混合攪拌して「クリーム」乃至糊狀となしたるものにして多量の水分を包孕して而も均等なる「クリーム」状態を失はず且優秀なる汚物除去作用を有す。(特許第八三八八八號)

鬢付油の製造法

「ダンマル」護膜或は膠と椿油或は「オリーブ」等の毛髮油と晒木蠟とを加熟溶解し冷却後之れに「オレイン」酸を混じ更に酒精と四塩化炭素を融合せしめたるものに着色料と香料を添加したるものにして日本風結髪に於て鬢の毛を張り或は縮毛癖毛を矯正し毛髮の脱落切斷を防ぐ使用簡易なる鬢付油を得ら

「バラフェニールンダイアミン」又は其の誘導体の無機酸又は有機酸塩類に硼酸、過硼酸、炭酸の「アルカリ」塩類等の如き強塩基と弱酸とよりなる特殊の塩類を添加したるものを主剤とするものにして之れは皮膚を刺戟せずして迅速に染着し且つ毛髪を硬直ならしむる等の憂なし。(四特出公第四一三三號)

染毛劑

「バラフェニールンダイアミン」又は其の誘導体或は上記のもの、有機酸塩又は無機酸塩に動物性又は植物性の蛋白質物を添加せるものを主剤とし之に酸化劑を添加したるものにして染毛中生する刺戟性中間体を除去するのみならず染髪後洗浄容易なるものなり。(五特出公第四四四號)

齒磨

酸性白土を主成分とし之に尙他の清淨劑及香味料等を配合したるものにして齒牙を損することなく且つ腔中の汚物悪臭「バクテリア」等を十分吸著除去し得るものなり。(四特出公第三三八五號)

洗淨粉製造法

鋸屑を水分及揮發物を發散せしむる程度に炒熱したるものに適量樹脂を加へ粉碎機にて粉砕したる後珪酸曹達及石鹼の混合濃溶液を加へ加熱混和したるものを乾燥し粉末となしたるものにして磨損し易き器物或は手足等の油其他の汚物を洗淨するに適當なるものなり。(特許第八二九六九號)

油脂洗滌洗粉

粉末質資料に炭酸曹達及び硼酸の適量を均等に混合してなるものにして例へば酸性白土一〇〇、曹達灰五、硼酸末一二の割合に混和したるものにして良く油脂洗滌の目的を達し得るなり。(特許第八二六三號)

精製せる鑛油、石蠟、「ワセリン」の酸化防止方法

精製せる鑛油、石蠟、「ワセリン」に硫黃「セレン」或は此等の「アルキル」化合物を添加するものにして

て之に依り酸化に對し著しき抵抗を有する様になる(四特出公第四一五七)

強力なる酸性白土の製造法

酸性白土を無機酸類又は有機酸類の瓦斯狀又は微粒子狀(霧狀)にて處理し次に「アルコール」類を以て洗滌し乾燥せしめて製するものにして極めて強力純良なる酸性の白土を得らる。(四特出公第一七八〇號)

脱色及吸着劑の製造法

酸性白土を攝氏五〇度以上にて濃度一五—二五「ノルマル」の硫酸を以て加熱處理するものにして原料白土に比し脱色及吸着力一層強大なるものを得らる(四特出公第四五二〇號)

擬毛皮製造法

動植物の纖維又は其の絲屑を一旦綿狀に打解したる上之を適當の幅に細斷し弱燃りを施して條綿と爲し次に之を少許宛引き延ばしつゝ順次隙間無く裁斷用

枠に詰め込み然る後之を一定の寸法に切斷して其端面に糊を施し紙布又は皮革に貼付するものにして纖維を總て同一方面に揃はしめ梳整する手数を省き普通梳整に依り失はるゝ所の短纖維も利用せられ且粗密の斑なく優美の製品を得らる。(四特出公第三一五〇號)

「ゴム」液製造方法

「ゴム」の溶劑たる揮發油「ベンゾール」等に該溶劑に溶和する「カーボニル」基又は水酸基を有する含酸素脂肪屬化合物又は其誘導体例へば「エチールアルコール」、「アセトン」、醋酸「アミール」の如きもの、一種又は二種以上を共に加へ之に未硫化「ゴム」を溶解せしむるものにして「ゴム」液製造を容易且迅速ならしむるものなり。(五特出公第三八五號)

粉末青寫眞藥

銀又は鉛の稼酸塩、稼酸鉄「アンモニア」、稼酸、磷酸「アルカリ」、赤血塩、「クローム」明礬及「ゼラチン」を個々に粉末と爲し相混和して成るものにして

て容易に濕氣を引かず永く貯蔵することを得。(特出公第二四〇三號)

無水石膏に凝固性を有せしむる方法

無水石膏と明礬と水を混和して放置するものにして從來殆んど廢物とせられたる無水石膏に凝固性を生せしめ各種用途に利用し得る様になしたるものなり。(四特出公第三七二九號)

煙火用混合劑

「マグネシウム」又は「マグナリウム」と木炭とを混和せる煙火用混合劑にして銃砲火藥取締法の適用外にして且つ安全なる混合劑を得之を燃焼せしむれば美麗なる火花を發散せしむ。(特許第八四〇九五號)

護謨製品着色法

「バラタ」を基材として之に着色劑を混じて作りたる溶液を塗着するものにして簡單容易且つ鮮麗なる

着色を護謨製品に施すことを得。(五特出公第五九三號)

生蝨油脱臭法

生蝨油を真空罐に入れ攝氏百度前後に加熱し少量の空氣を通じつゝ脱臭し更に少量の濃硫酸を加へ能く攪拌しつゝ稀亞硝酸曹達液少量を注加し脱臭精製するものなり。(特許第八二五二三號)

蚊取線香製造方法

除蟲菊粉と糊料と「マラカイトグリーン」との混合物に「バラニトロ」石炭酸を混和し之を練合成形したるものにして「バラニトロ」石炭酸の使用に依り火付き良く着色斜少量にして鮮明なる着色効果を達し貯蔵中微の發生する恐れなし。(四特公第四一三六號)

漁網染料油の製造方法

獸類の凝固せざる血液に木「タール」及「ベンゾール」を混和したるものと低温「タール」と「クレオ」ることより成る糝劑にして短日間に淡色にして充填性に富む革を製造し得べき糝劑なり。(四特出公第五二八三號)

肥料製造法

米糠を水洗し搗粉又は砂質夾雜物を除去し大部分の水分を分離し之に鹽酸にて酸性とせる鹽化加里を添加し放置し「フイチン」を遊離せしめて後混合機内にて冷却操作を行ひつゝ徐々に石灰窒素を添加し含有生石灰を消和すると同時に乾燥状態になし更に磷酸「アルミナ」を添加するものにしてかくて三要素を具備する肥料を經濟的に製造し得るなり。(四特出公第四八九八號)

薄荷締粕を混じたる肥料

纖維素分解菌、硝化菌、窒素固定菌、根瘤菌等の如き肥料酸酵並に肥効上に有益なる細菌を多量に含有せしめたる材料(例へば糖類、澱粉又は炭酸「マグネシウム」等の如きもの)を粉碎したる粉末と大豆粕、棉實粕、油粕、魚肥等の肥料の一種又は數種

液 状 膠

尿素水溶液に膠又は「ゼラチン」を溶解し之に「アルコール」類を加へて製するものにして、常温に於て濃厚なる流動状態を呈し粘着力強く腐敗の恐れなく使用上便利なるものなり。(四特出公第三五〇九號)

糝劑の製造法

鋸屑又は之に類似する炭水化合物例へば綿纖維素類又は澱粉類、糖類を磷酸の存在に於て「ヒドロオキシ」芳香族化合物と共に處理して稠粘性ある物質に變生せしめ之に發煙硫酸を作用せしめて「スルフォ」化し斯くて得らるゝ水溶性「スルフォン」酸を「メチレン」誘導體又は「フォームアルテハイド」或は鹽化硫黃を以て縮合せしめて後中和し且つ稀釋す

の粉碎したるものとを充分混合したるものに薄荷油を採集したる残滓即ち薄荷縮粕を粉碎したるもの、適量を加へ混合したるものにして締粕中に残留せる薄荷油が細菌を刺戟し菌の活動繁殖を盛ならしめ肥料の醱酵分解を速進し速効性肥料を得らる。(五特出公第九五號)

防水劑の製造方法

「ゼラチン」及「セルロイド」の適當量を強度の醋酸に浸漬して常温に於て膨脹軟化の状態に到らしめて後加温數時間液化成熟の後放冷して「アルコール」「ベンゾール」二溶劑の當量を追加し完全に溶解せしめ「ゼラチン」の強靱なる膠着質と「セルロイド」の的確なる防水質との特質を親和溶合して成るものなり。(四特出公第一三八九號)

防水強靱液

苛性曹達の濃度一八一二〇%浸漬時間三五時間浸漬時の温度攝氏一四一六度にて調製したる「アルカリ」纖維素と更に一五二〇時間熟成せしめたる後三〇三二號)

船底塗料

從來使用せらるゝ船底塗料資料の外に動物体を密閉なしたる器内に於て黒燒とならざる程度に於て乾燥せしめ乾燥に依つて生じたる「エキス」分と含窒素鹽類並に残留せる有機質及膠質様体等よりなる成生物を粉末となしたるもの及繭毛質物質を細片としたるものを適當混和したるもの及蝨油とを混和して造るものにして上記の物質の有する生物の幼虫及胞子に對する走化性的物質により牡蠣、海藻、其他の生物の附着を防止し得るものなり。(四特出公第三八三七號)

「マニラエレミ」船底塗料製造法

植物「マニラエレミ」より採取せる樹脂を主成分とし

二硫化炭素に溶解せしめたるものを米糖及大豆粕の苛性曹達を以て處理して得たる浸出液を以て稀釋せる防水強靱液にして一般紙類、綿糸及魚網等に使用して好結果を得らる。(四特出公一五三三號)

防火耐水塗裝法

(一)硼酸、炭酸「アンモニウム」硼砂の「ゼラチン」水溶液と(二)「カゼイン」の硼砂水溶液に基体顔料として胡粉を混ぜるものと(三)「カゼイン」の一〇%硼砂水溶液と(四)「ホルムアルデハイト」の一五%乃至二十%水溶液とよりなる四種液を順次に塗布するものにして一液により木材布等の素質を吸濕性ならざる防火物質に變せしむると共に(二)(三)(四)液により該物質の表面をも完全に耐火性耐水性とならしむるものなり。(四特出公第四三六〇號)

綠色木船用船底塗料

硫酸銅溶液、鹽化「バリウム」及石灰乳にて製したる銅青色顔料と硫化銅及「クロム」酸鉛との混合物を顔料とし之を松樹脂「ステアリン」酸及揮發性油に普通の塗料原料を加へ製造するものにして「マニラエレミ」樹脂成分の特性を利用して船底に附着する海草具蟲類を防止し得るものなり。(四特出公第四六五九號)

船底塗料防介資料

無水「ラノリン」「フォルマリン」鶏卵の白味を使用するを特徴とし之を適宜の結合劑及顔料と混和して作る塗料にして防介力、防海藻力、防腐力強大なる塗料を得らる。()

灰黑色「ペイント」

熔融鉛を噴射器を用ひ特に強力なる壓搾空氣より容器内に噴霧し豫め微粒状態となして急冷せしめ之れが脆弱性を帯びたる際高速度に廻轉せる翼面に衝撃せしめて一層微粉化せしめたる鉛塵を主要原料とし之に適宜の乾燥油を配合せしめたるものにして被覆力に富み變色せず且つ硬化の憂なきものを得らる。(四特出公第四五六七號)

「アルミニウム」塗料の防濕

塗装法

「ラック」の「アルコール」溶液に「アルミニウム」粉末を混入せる塗料を下地とし一回塗装し更に上塗として「ラック」の「アルコール」溶液を刷子の同一方法に擦過しつつ塗布するものにしてこの操作により「アルミニウム」微箔を塗装面に鱗狀に配列せしめ塗装膜薄くして然も絶大の防濕力を有するものにして鑄造模型又は航空機等の保護塗装として有効なるものなり。(特許第八二九八五號)

「アルミニウム」塗料

油「ワニス」製造の際原料樹脂より分解蒸發する瓦斯を冷却凝縮して得たる樹脂油を鹼化したるものに「アルミニウム」化合物を作用せしめて一種の樹脂酸「アルミニウム」を作り之に耐久性「ワニス」及「アルミニウム」粉末を混合したるものにして使用輕便にして光澤良好なる「アルミニウムペイント」を經濟的に得らる。(五利出公第三〇九號)

耐蝕性大なる合金

銅に「クロム」〇・二乃至一・五%「アルミニウム」七・〇乃至一三・〇%及「ニッケル」又は鉄を各〇・二乃至三・〇%の範圍内にて含ませたる合金にして耐蝕性大なる管、棒、板等の製造に適せり。(特出公第三三〇七號)

金 合 金

金と銅及銀との任意量の合金を基礎とし之に「コバルト」〇・〇五—一・五%、錫〇・一—四%、亞鉛〇・一—二%を含有せしめたる合金にして質緻密堅靱にして弾性著しき強き金合金を得らる。(四特出公第二九七四號)

低溫滲炭方法

鉄又は軟鋼をAの變態点以上攝氏八〇〇度以下の溫度に於て酸素及び二酸化炭素に對し一酸化炭素の濃度高き瓦斯を「アルカリ」金屬又は「アルカリ」土類金屬の塩類の存在の下に通して加熱する低溫滲炭

方法にして鉄又は軟鋼の表面に炭素濃度高率にして而かも極めて薄き滲炭層を形成し得るなり。(四特出公第三九四四號)

強靱特殊鋼

炭素〇・二乃至〇・三五%「マンガ」〇・七乃至二・〇%「ニッケル」二・五乃至四・〇%「クロム」一・〇乃至二・〇%「モリブデン」〇・三乃至一・〇%、硅素〇・七%以下其他少量の不純物を含む有する鉄より成る合金鋼にして油中焼入れ及焼戻し作業を施すこと無く單に攝氏八〇〇度以上より空氣中に放冷することにより優秀なる諸機械的性質を具せしめ且つ焼入れに原因する焼割れ變形等の虞れなく且焼戻しによる焼戻脆性の現象なからしめ優良なる特殊鋼を得らる。(五特出公第二七一號)

固形研磨劑製造法

稀酸溶液に白蠟と天然仕上砥石の粉末と石灰粉末とを加へ加熱しつゝ攪拌し良く捏ね合はしたる後之を凝固する固形研磨劑製造法にして硝子、金屬、陶器

木質器具等の各種の物の研磨に適當なるものなり。(四特出公第三三八一號)

砥石製造法

酸化「マグネシア」、炭化硅素、酸化「アルミニウム」等の研磨材料を混和し之に「フェノールフォルムアラデヒド」縮合生成物の「アルコール」溶液と「カゼイン」の「アンモニア」水溶液「フォルムアルデヒド」「コロイド」、粘土を密和し均質となし成型後壓搾加熱し製するものにして研削度耐熱性耐水性、耐油性ある砥石を得らる。(四特出公第三六八三號)

耐火物製造法

高級耐火材料の粉末を適宜の形狀に成形し焼成したるものゝ一種若くは一種以上を之等が相互に配合する如く結合劑並に場合によりては他の耐火材料を混合するものにして高温に於ける耐熱荷重力大にして變形せず急熱急冷に遇ふも龜裂を生ぜざるものなり(四特出公第三八五〇號)

紫外線に對し不透明なる黄 綠色硝子

普通の硝子に各〇・五%以下の酸化鉄及酸化「クロム」を含有せしめたるものにして之れは紫外線を吸収し然も他の光線に對しては高き透光率を保有するものにして照明器具を製作し養蠶等に應用して有効なるものなり。(四特出公第四四〇九號)

粘土細工用原料製造法

粘土細工用の粘土に代ふるに生「ゴム」を主成分と爲し之を適量の「リトオン」及炭酸「カルシウム」を「ダイナモ」油「スピンドル」油「マジン」油にて練合したるものにして攪拌混捏し着色を要するときは更に適量の所要色素を混入して以て粘土細工用原料を製造するものにして従來の粘土細工用の粘土に比し一層の粘性と弾性を有するものを得らる。(四特出公第五二七六號)

高級耐火材焼成法

炭化珪素に融剤を用ひ(融剤は場合に依り加へざるも可)それ自体の電氣抵抗を利用し耐火材を焼成するに當り抵抗体、周囲の熱絶縁物に鋸屑、藁等の如く炭化するも粘結性なきものを使用するものにして熱能率を増進し且優良なる耐火材を得らるゝなり。(四特出公第三八五二號)

煮沸用陶器製造法

普通陶器の素地中に其の重量の五割以下の「カーボランダム」又は「アランダム」或は兩者の混合物を混和し成形焼成するものにして金屬の如き堅固に焼締り外力の衝動に耐へ強熱急冷にも耐へ煮沸用陶器として良好のものを得らる。(四特出公第五〇壹號)

タイル

「タイル」層を嵌入固定して兩者分離することなく、これを使用する際は建築物下地塗「セメントモルタル」がこの「セメントモルタル」面の隆起部に喰合ひ堅牢に固着して剝離することなき特長あり。(四實出公第一三二五八號)

「タイル」製造法

膠、明礬「マルセーユ」石鹼を温湯にて溶解し之に少量の磷酸を加へ其の温度の冷却せざる前に「ポトラントセメント」或は白色「ポトラントセメント」を摺合したる第一資料と「ポトラントセメント」或は白色「ポトラントセメント」を水にて捏合したる第二資料とを加へて充分に攪拌せしめて之を型に入れ第一資料が凝結したる後型より取出し其面を水洗するとき第二資料未だ完全に凝固しおらざるを以て之の一部を洗ひ落し凸凹状を呈せしめて外觀を良好ならしむるものなり。(四特出公第四一五一號)

人造大理石製造法

硝子板又は金屬板の表面に水浸膨脹せる寒天片を撒布し其上に白色「セメント」又は其他の「セメントモルタル」を置き之に顔料又は染料を加へて少しく攪拌し大理石様の模様を生せしめ其上に「コンクリート」又は「モルタル」等を添加し其の乾燥凝固を待ちて硝子板又は金屬板より剝離し寒天の乾燥收縮に基く不規則なる空隙を生せしめ之に異色の「セメント」を充填し其の上を磨きそれに蠟又は油類を塗りて作るなり。(四特出公第二六七一號)

「セメント」防水劑

石鹼溶液に「フェノールフタレイン」を指示薬として大約中性となる迄磷酸を加へ之に水酸化「アルミニウム」を加ふるものにして(水酸化「アルミニウム」は加へざるも可なり)永く「ゲル」化又は沈澱することなく水を以て稀釋することを得「セメント」と練和するとき其の凝固時間を遅延せしめ又強度を減することなし。(特許第八二六四一號)

「セメント」防水劑

醋酸鉛、明礬及び苛性「バリウム」の混合剤にして防水効果を大ならしめ「セメント」の凝固を完全にし其の強度を大ならしむるものなり。(特出公第三二九一號)

「セメント」防水劑

二硫化炭素「ベンゾール」及「パラフィン」系液状炭化水素の混合溶液に硫黄、生護謨及固形「パラフィン」を添加溶解せる「セメント」防水注入劑にして「セメント」構造物に注入して安價に防水施工をなし得るものなり。(四特出公第一〇二八號)

「セメント」防水劑製造法

蒸熱せる米糖に市販硅酸曹達溶液を加へ加熱し均一なる糊狀物質となしたる後冷却し之れに塩化石灰液を加へたるものにして防水性大にして而も硬化作用を具備する製品を廉價に得らる。(四特出公第五一九二號)

「セメント」急結劑製造法

硅酸分過多にして鉄分少なき菱苦土鑛石を原料として炭酸塩が酸化物に變する程度に輕焼し粉碎し硅酸質物と「マグネシヤ」の硬度比重異なるを配合して機械的に硅酸分を除去分離し之に鉄媒熔劑を配合し水を加へ粉碎泥漿となし乾燥し灼熱して「マグネシア・クリンカー」を造るものにして耐火性の「モルタル」「ライニング」煉瓦材料として優良なるものを得らる。(四特出公第三五三二號)

「セメント」粉碎用「ピース」

方体と球体との合成形状をなしたるものにして「ピース」と「ピース」との接觸を確實ならしめ「セメント」の粉碎を極めて容易迅速ならしむると共に球体により其轉動を容易ならしめ得るものにして又製作も容易なり。(四實出公第九三九四號)

白色「セメント」製造法

石灰石又は白雲石を粉碎熔焼したるものに硅酸礬土類を含有する物質を混和し更に清水を加へて攪拌し其泥狀となしたる後乾燥し適當の温度により熔焼し其

硅酸曹達に稀硫酸を注入して硅酸曹達の大部分を硫酸曹達となし之を濾過して得たる遊離硅酸に富む硅酸曹達溶液中に「カゼイン」と白堊とを混合して製するものなり。(四特出公第一八八四號)

「セメント」急硬補強劑の製造方法

熔焼「アルナイト」礦粉末(攝氏五〇〇—六〇〇度程度に熔焼せるもの)に適量の酸化石灰粉末又は水酸化石灰粉末或は石灰石粉末を混加し水を以て混捏作用せしめ後攝氏二〇〇度程度にて乾燥し粉碎して製するものにして之れの適量を混加するときは「セメント」固有の凝結時間に影響を與ふる事なくして初期の強度を著しく發揮せしめ同時に「セメント」中の遊離石灰と作用して遊離石灰より來る種々の缺點を除去し以て「セメント」の強度を益々強大ならしむるものなり。(四特出公第三八九一號)

「マグネシヤ・クリンカー」製造法

の未だ灼熱温度を保有せるものを清水により水消化を行ひ乾燥後炭酸石灰及硫酸「バリウム」又は硫酸礬土を混じ微粉狀となしたるものにして一般建築物接合材料として完全なる水硬性の白色「セメント」を得らる。(四特出公第五一四六號)

「セメント」及漆喰壁用着色防水塗料

「ビッチ」類と高級脂肪酸「アルカリ」又は樹脂酸「アルカリ」を混熔せる後水を加へて製したる乳狀液に硼酸を加へたるものと可溶性「アルミニウム」鹽の水溶液に炭酸「アルカリ」又は重炭酸「アルカリ」を加へて生じたる沈澱を洗滌し又は洗滌せずして得たる水酸化「アルミニウム」の懸垂液と水に浸漬したる大豆を水と共に白にて挽き濾過して得たる液に硼砂を加へたるものと顔料とを混和したる塗料にして之れを水にて稀釋し又は稀釋せずして「セメント」又は漆喰壁に塗布して防水性と色彩とを與へんとするものなり。(四特出公第四九九三號)

壁塗料製造法

長石、石膏、石灰の各粉末を混合し充分搗碎したるものに「タブ」の木の粉末を加へ再び搗碎しつゝ、混合したる壁塗料製造法にして防火、防水性に富み一般建築用塗料に適するものなり。(特出公第五〇〇一號)

石灰石焼成窯

高く築造されたる窯壁の内壁を内方に相對向する様突出せしめ隆起部となし該隆起部の下面と稍々平行して隔壁を設け隔壁と隆起部とによりて八字形を成す焼成室を構成せしめ構成室は空室を経て焼成室と相通せしむる様爲したる石灰焼成窯にして各種燃料を使用して石灰石を平等に焼成せしめ然かも燃料の節約をなし得るものなり。(特許第八四〇三七號)

窯に於ける燃焼環

回轉窯の燃焼部燃料着火點の内壁に耐火物を以て適當の高さに造られたる環狀突起物の燃焼環にして

第五〇七七號)

土練機

從來は上下攪拌筒の外方に「ロール」を設へ上方より送出さるゝ原料土を喰込む様構造され居たるも實用に不適當なるに依り本案上筒の下方に大小二個の「ロール」を装置し之れに土搔飯を大形「ロール」の下方匣内にて上下する様螺旋狀彈機に依り着したるものにして粘土の喰込取離も良好にして如何様なる原料土の性質にも適し得るものなり。(四實出公第九八三六號)

油引電氣絶縁布

木綿布、麻布又は絹布に澱粉糊其他普通の布帛整理劑中に「ゴム」の「アンモニア」性水溶液或は寒天の水溶液の何れか一種又は二種を同時に加へたる糊料を施し皮膜を形成せしめたる後乾燥性油脂と樹脂類若は瀝青類等を主成分とせる塗料を塗布して乾燥せしめたるものにして油性塗料の纖維内に浸潤することを防止し塗料の自然分解に因りて生成する酸類

「バーナー」以外より侵入する空氣と燃料とを容易に接觸せしめて完全燃焼を合理的になさしむるものなり。(四特出公第四九八九號)

石灰消化攪拌機

石灰投入槽の中心に長短二種の羽根を廻轉攪拌するものにして之に石灰及水を投入攪拌する場合各部均等に攪拌混合せられ風化良好にして能率的なり。(四實出公第一二八九三號)

生石灰消化装置

内部に攪拌翼を備ふる第二消化室の一端頂部に第一消化室を設け該室内には原料生石灰を供給する多孔の收納筒を旋回自在に横架し第一消化室には頂部に噴霧装置を望ましめたる石灰粉末捕集室を開口せしめ捕集室より噴送し來る水霧により第一消化室中の生石灰を消化せしめ更に第一消化室より落下する生石灰並に消石灰の混合物を第二消化室にて消化し搬出せしむる生石灰消化装置にして品質均一にして優良なる製品を損失なく連續的に得らる。(四特出公

等のために纖維の腐蝕せらるゝことなく耐久性に富みたる優良なる絶縁物を得らる。(四特出公第四五五三號)

絶縁体製造法

粉狀物、粒狀物、纖維質若く多孔質物等に縮合絶縁物を生成すへき液を含ませ之に電流を通じ絶縁体を製造する方法にして製造處理中抵抗の變化の状態を檢し得て精確なる所期の抵抗値を有する絶縁体を簡易確實に製造するものなり。(四特出公第四二七四號)

煉炭製造法

微粉となしたる石炭を「デキストリン」と重「クロム」酸加里との水溶液にて混捏し壓搾型成後乾燥し無煙無臭の煉炭を製造するものなり。(四特出公第四七一八號)

煉炭製造法

無煙炭「コーク」「コーライト」木炭等の粉末の如

き炭素質物に高爐「セメント」又は「スラッグセメント」若くは「ポルトランドセメント」と蒟蒻糊と礬砂若くは礬酸をを加へ混捏成形し乾燥するものにして質堅硬にして吸湿性なり且水を注ぎ消火するも崩壊する憂なし。(四特出公第四四八七號)

煉炭製造法

有煙粘結性又は不粘結性歷青炭若くは褐炭、泥炭、亞炭、無煙炭微粉及微粉「コーライト」「コークス」或は木炭等の炭素質の粉末又は是等二種若くは數種の混合物に少量の過酸化滿俺を添加し攪拌加温しつゝ之れに膠と黒糖又は糖蜜を混溶せる液汁を注加し微粉粒子に浸潤附着せし適宜の形態にて壓搾成形して攝氏二〇〇—四〇〇度に於て乾縮し煉炭を製造するものにして堅硬にして破碎する憂なく點火し易く無煙無臭の状態にて燃焼し燃焼熱中のものを淡水盪水中に投入するも崩壊せざる家庭用又は工業用好燃料を製造するものなり。(五特出公第五四二號)

固形燃料の製造法

る様になし煮餾等の場合に便利に使用し得るものなり。(四實出公第九二一五號)

燃料節約調整機

斷頭圓錐型の壁体の周りに數個の窓を穿ち之に開閉自在の扉版を取付けたる燃料節約調整機にして、火鉢、暖爐等に裝置して木炭、煉炭等を其内部にて燃焼せしめ火力の飛散を防止し外氣は扉の開閉の程度によりて調整し而も扉版は互に之を併合せしむるときは之に所要煮炊器を載架することを得燃料の節約をなすと共に燃焼の調整を計り得るものなり。(實出公第一〇三五二號)

細末燃料焚器

左右兩縁を有する台「ロストル」に中央に火焰登出口を設けたる屋根型「ロストル」を重ね合し台「ロストル」と屋根型「ロストル」の間を點火口とせる細末燃料焚器にして爐中に於て粉殻の如き細末燃料を焚き得る様なしたるものなり。(實出公第一〇一七號)

鋸屑其他の纖維質物を先づ礬酸水を以て煮て纖維を柔軟にし之を「ケロシン」原油の如き油類を以て加熱處理し油類を纖維に浸透せしめ次に硫酸曹達と單寧酸とを研和し水を加へたるものと前記の纖維質物を混和し纖維の内部に「ゲル」狀皮膜を生せしめたるものにして一度薪炭として使用し後再び煉炭として用ひ得るものなり。(四特出公第四三〇〇號)

保溫用炭化粉殼板製造法

粉殼に「シリケート・コットン」又は「シリケート・コットン」及甘藷若くは玉蜀黍莖の碎挫せるもの其他の植物性纖維質を添加し之に樹脂及瀝青質物を混じ型に充填し大氣と遮斷し高壓の下に壓搾しつゝ加熱炭化し凝固したるものにして耐水性にして熱の絶縁力大なり。(四特出公第三〇七九號)

煉炭燃焼器

鍋を懸架し得る外筒の下部に三方に吸氣孔を有する空氣室を設け其の内部に火格及補助燃焼室を設けて補助燃焼室に依り着火の場合及火力の加減をなし得

粉末燃料燃焼爐

把手に依り傾斜度を調節し得る階段狀火床と其の上部に燃料收容室あり之を隔板にて適宜落下し得る様にすると共に中空火床を燃焼室中に設け熱氣を階段火床の下に排出する様になしたるものにして完全燃焼をなさしむるものなり。(四實出公第九一四四號)

「セメント」焼成回轉爐に於ける微粉炭燃焼裝置

「セメント」焼成回轉爐に於ける微粉炭燃焼吹込「バイブ」の外周を包被せる送氣管により二次的に空氣爐内に供給し且つ該管の先端に設けたる螺旋狀翼によりて第二次の空氣に圓運動を與ふると共に燃焼焔に螺旋狀の旋回運動を與へて爐内に吹込む裝置にして吹込「バイブ」を冷却すると共に燃焼焔を短縮し其熱度を増加せしめて熱を有効に使用し石炭消費量の節減を計り同時に良質の「セメント」を得んとするものなり。(四特出公第四八二二號)

養料工業

清酒調熟法

清酒中に白金石棉、海綿狀白金、「イリジウム」石棉又は海綿狀「イリチウム」を適當なる時間容れ置きて清酒を醸造後速かに芳醇美味ならしめんとするのである。(特出公第二四一三號)

醸造米處理法

玄米の胚と皮膜部が除かるゝ程度にて摩擦精白をなし更に「アルカリ」溶液にて處理し脂肪、蛋白質等を除去するものにして在來法の如く搗減の損失なく且つ脂肪、蛋白質を全部除去することを得優良なる醸造米を得らるゝなり。(四特出公第三二六三〇號)

清酒其他飲用物防腐劑製法

「クロール」の飽和液に尿素を投ずるか又は尿素の飽和液に「クロール」瓦斯を通じて常溫以下に於て

作用せしめ次に暫時冷暗所に放置して其作用を完からしめたる後適量の酒石酸を加へて液を酸性にならしむると同時に劇しく振盪して再び冷暗所に放置し後蒸發乾固したる防腐兼消毒劑にして清酒等飲用物に添加して少量にて長時間消毒及防腐の作用を逞うし得るものなり。(四特出公第四八五四號)

合成葡萄酒製造法

人工葡萄酒の混和資料として普通使用せらるゝ物質例へば酒精、糖分、有機酸、「グリセリン」酒石及少量の高級「アルコール」を適當に水に溶解せしものに「オナントール」「コクスエーテル」及葡萄酒精を加へ之れに電流を通して種々化學的變化を生せしめ以て天然葡萄酒製造に際し其の長き醱酵成熟後發生せらるゝ如き香味を生せしむるものにして全然醱酵に依らずして天然葡萄酒に類似せるものを製造するにあり。(四特出公第五二六〇號)

味淋速醸法

蒸熱處理したる穀類の粉末及糠に麴菌を添加して造りたる麴を粉末となしたるものと乾燥酵母と共に蒸米を適當溫度に冷却したるものに添加して乾燥状態に於て糖化醱酵せしめ酒精液を加へ殺菌を行ひ暫く放置後適當量の水を加へ壓搾精製して味淋を醸造する方法なり。(四特出公第一四四〇號)

醤油醸造法

蒸煮大豆と炒熱割碎小麦とを混じ此れに醬油種麴及醬油酵母を添加して製麴し之を大豆蒸煮の際生ずる滲液に加へ蛋白分解作用及酒精醱酵作用を急激に行はしめたる後に所要の食塩を加へて調味し短期間に醬油を醸造し得るものなり。(四特出會第四八七四號)

醬油製造法

麥酒醸造の折生する糖化殘渣を強壓して水分を脱却せる後大豆粕及其の他の原料と混じ二時間以上蒸餾

せるものを製麴材料として供用するものにして從來のものに比し醬油の製造を促進し而かも芳香色澤等一層濃厚なるものを得らる。(四特出公第五一五四號)

醬油醸造用麴製造方法

大豆を生のままの状態にて其表面に多數の破傷を施し後之れを煮蒸し之れに麴原料を添加して製麴するものにして麴菌を豆の被下全面に亘り一様に繁殖せしめて其の熟成期を早からしめ且諸味仕込後大豆の粘泥状に破潰することを阻止して醬油の風味を失はず併せて收得量を増加せしむるものなり。(四特出公第五〇五〇號)

醬油類似原液の製造法

植物性蛋白質物を微温したる酸液中に攪拌しつゝ長時間浸したる後濾過し濾液を分解槽中にて過酸化水素液の存在の下に加熱し其分解を充分に起さしめ此の分解液を強「アルカリ」性となし水蒸氣を通しつゝ加熱して分解液中に含まる「アミン」類及「デ

アミン」類「アンモニア」塩等の有毒物を分離發散せしめて後酸にて中和したる醬油類似原液の製造法にして之れに着色料、香料及食塩を加ふることにより安價且つ輕便に邦人の嗜好に適する醬油類似原液を得らる。(四特出公第五〇四八號)

醬油類似品製造法

水に浸漬せる大豆を壓漬し次に大豆の纖維質を壓搾濾別し其の乳分を乾固し之れり小麦粉より採集せる麩質を加へ其混合物を脱脂劑によりて油分を除去し後鹽酸及食塩を加へ加熱加水分解を行ひ各種「アミノ」酸類と食塩との複鹽を造り次に苛性「ソーダ」を以て鹽酸を中和するものにして短時日に優良なる香氣及美味を有する醬油類似品を製造し得らる。(四特出公第三六六五號)

醬油の防腐劑製造法

蛋白質又は蛋白質を主成分とする各種の物質に揮發芥子油及水を加へて攪拌混和して乳狀液の醬油防腐劑を製造するもので醬油に良く混和し臭氣少く防腐

の效力を大ならしむ。(四特出公第二六二六號)

醬油微止劑芥子油乳劑の製造法

揮發芥子油に「レチデン」及水を加へ攪拌し乳劑を造るものにして從來の揮發芥子油を醬油に加ふるも平等に分布せしむること困難なり、然るに本乳劑は原料「レチデン」の強力なる乳化作用に依り良く乳化され居り之を醬油に加ふる時は平等に混合分布するのみならず臭氣も揮發性も少なく一層有効なるものなり。(四特出公第三五二三號)

「ソース」の製造方法

米糠に鹽酸にて酸性とせる水を加へ温浸するに當り之に鹽酸「ベグシン」の蛋白分解酵素を添加して蛋白質を消化溶出すると同時に各種營養成分の抽出したる液を中和し此際中性液に折出する物質を濾過し其濾液を低溫度にて濃縮して「エキス」状となし之を前に濾別せる沈澱物と共に醋酸酸性「ソース」中に溶解せしめ以て米糠等の含有蛋白質を消化せしめ

各種栄養成分を充分に抽出し其の抽出物全部を「ソ
ース」中に溶解せしめ極めて栄養價に富む「ソース」
を製造し得るなり。(四特出公第四八七〇號)

大豆滲液利用「ソース」製造法

味噌醬油醸造の場合原料大豆より生ずる滲液は從來
廢棄せられたりしが之れに乳酸菌を添加し醱酵せし
め香辛料、調味料を加へ「ソース」とするときには營
養價豊富なるものを得らる。(四特出公第三〇八九
號)

食酢を醸造する方法

澱粉糖化液に琥珀酸生成細菌を移植培養し其の液中
にて酸醱酵を營ましめたる後酒粕を加へて酒精醱酵
を行はしめ然る後之に種酢を加へて醋酸醱酵をなさ
しめて食酢を製造する方法にして香味佳良なる食酢
を得らる。(四特出公第四九八〇號)

食酢製造法

蒸熱處理せる糠及澱粉に「リゾプブス」又は「アス

ベルギルス・オリゼ」を移植せる麴と乾燥酵母との
粉末混合物を蒸熱せる糯米に添加混和し糖化醱酵せ
しめたる糖化物に種酢、温水又は水、酒精を加へて
酸醱酵を行はしめて食酢を造るものにして簡易なる
方法にて美味、芳香を有する優良食酢を得らる。(四
特出公第三六四七號)

味噌速醸法

蒸煮大豆の一部又は全部を以て大豆麴を造り之に温
水を加へて攝氏三十度乃至六十度に保温したるもの
に澱粉質資料を以て仕込み醱酵せしめたる諸味を加
へ熟成せしむるものにして澱粉質資料をして直ちに
酒精醱酵を起さしめ短時間にて風味優良にして芳香
を有する味噌を熟成せしむるものなり。(特許第八
四三八四號)

味噌醸造法

大豆粉及澱粉質資料の粉末に膨脹劑を加へ水にて練
り加熱膨脹せしめ適當に細切したるものと別に穀粉
に膨脹劑を加へ水にて練り加熱膨脹せしめ細切した

るものを以て造りたる麴と食塩及水を以て仕込みす
ることを特徴とするものにして穀粉を使用して中心
部迄微孔ある原穀麴にて仕込み醱酵を均一とし完全
に熟成せしめて酵素可溶性成分を多量に含有する味
噌を得んとするものなり。(特許第八四一六二號)

松葉味噌の製造方法

松の生葉を氷塊中に投じて凍結せしめ之を切斷し低
温にて乾燥粉末にして別に準備せる酒粕と共に熟成
せる普通の味噌中に加へ混和攪拌し製造するものに
して生松葉其の儘の有効成分を味噌中に極めて均質
に混有し營養に富める香味よき製品を得らる。(四
特出公第四四二七號)

麴製造法

蒸饅せる米を麴室に引込むとき若くは床揉を行ふ際
硫酸白土を撒布し可及的に均一に被着せしめ後常法
に依り操作し麴を製造するものにして容易に米粒組
織内部まで齊一に「ハゼ」込ましめ質健全優良なる
麴を製し得るなり。(四特出公第四三二一六號)

糠麴製造法

米麥等の糠に切りたる生姜の菜莖を混加し糠麴を製
造するものにして漬物類、味噌、醬油及酒類醸造に
使用し得べき香氣佳き糠麴を得らる。(四特出公第
五二〇八號)

食料及飼料製造法

醬油粕を水洗して其塩分を脱除したるものを蠶蛹に
加へ次に常法により之に穀類の糠と高粱の如き澱粉
質を加へたるものを「アスベルギルスメリウス」菌
にて製麴し直ちに酵素を破碎せざる程度に殺菌し次
に「アスベルギルスオリゼ」にて製麴し適温を
保たしめて酵素作用を進め後乾燥するものにして消
化性に富み臭氣少なく營養分多き食料又は飼料を得
らる。(四特出公第三九四七號)

調味料の製造法

生の小魚を骨付の儘切斷し重碳酸曹達液にて所理し
軟化したるとき「アルコールアンモニア」液を加へ

て魚類の脂肪を鹼化し魚臭を消去して後粉末となす別に昆布に筍皮を混合し煮沸して抽出液を前記粉末に加へ加熱乾燥するものにして前記藥品處理に依り味の低下を來すことなく小魚特有の味に昆布の味を有せしめ理想的の調味料を得らる。(四特出公第四八三八號)

可溶性濃厚營養劑製造法

動植物性蛋白若くは蛋白含有物質に新鮮酵母の生活細胞を硅砂の如き固き粉末体を以て機械的操作に依りて磨碎せるものを混合攪拌し後放置し加水分解せしめたるものを濾過したるものにして新鮮酵母の有する酵素の力を充分巧みに利用し加水分解をなし蛋白を人体に容易に吸収され得べき形態に變じ同時に生活細胞原形質内容を全部包含したるものにして可溶性優良營養劑なり。(四特出公第四四六四號)

凍豆腐製造法

凍豆腐の製造中一度固まりたる時之を碎きて更に絞り函に收容する際蒟蒻粉の水溶液を豆腐に混じて箱

中に容れ蓋を載せて壓搾凝結せしむるものにして凍豆腐の質緻密に且調理に際し迅速に吸水軟化せらるゝ製品たらしめ凍豆腐の凝集時間を早め且つ凝集力を増加し豆腐の容積を増大ならしめ製品の數量を増加すると凍豆腐の取扱中破損又は割目を生ずるの虞なからしめたるものなり。(四特出公第四八二六號)

天麩羅衣製造法

小麦粉及び「コーン・スターチ」の約等量と煨製「マグネシア」の少量とを混和したるものにして良く開華し優良美味なる天麩羅を得らる。(四特出公第三四一七號)

麵麩の製造法

酵母を以て麵麩を製造する場合「ドウ」の混捏中に人工太陽燈を使用して發生する紫外線を濾光板により三千乃至四千「オングストローム」の波長のものに制限し此の強き紫外線を照射するものにして之により使用酵母の量を減すると共に色白き品質良好なる麵麩を等量の材料を用ひて従來のものに比し多

量に生産し得るなり。(四特出公第四四七號)

粉末鱈製造方法

臟腑、頭尾等を除去し水洗したる鱈を乾燥せる豆腐糟(キラズ)中に混淆し數時間經過後鱈を取出し柿澱液中に投入して數時間浸漬せしめ引上げ水洗後温湯にて暫時煮沸し後乾燥し粉碎機にて粉碎するものにして長期間放置するも濕氣を呼ぶことなく微を生せず且鱈特有の臭氣を除去し得るなり。(特出公第二九一四號)

飯粒の附着を防止する方法の改良

昆布を湯煮し若くは湯内に浸漬して浸出せしめたる液汁を適當の稀釋液となしたるものに依りて容器内に潤するものにして在來の如く「ゼラチン」「パラフィン」、紙、竹葉、或は胡麻燒鹽等の如きものを使用したる場合には飯味を損し腐敗を早からしめ強度の粘性のために食用者に不快の感を與へ或は温飯時

に於ては飯粒の離脱を多少助くるも冷飯となるに従ひ附着するの缺點あるも本發明はこの缺點なし。(特許第八二九八一號)

乾燥「バナ、」製造法

成熟せる「バナ、」を剥皮し其の果肉のまゝ、寒天二%、糖分五十%及澱粉の若干を添加溶解せる温湯中に約二時間—四時間浸漬し「バナ、」の自然の風味芳香、形を保たしめ「バナ、」の果肉中に均等に含有せしめたる後溶液より取上げ果肉表面の水分を除去し數日間放置し固定乾燥せしむるものにして長時間の貯藏に絶ゆるものなり。(特許第八二四五六號)

蔬菜及海草類乾燥法

「チエイン」の水溶液を造り之に蔬菜及海草類を浸漬し適當時間の後之れを取出し之れに乾燥淨化せる熱空氣を送り乾燥するものにして實質を可及的に變せず色、香等を保ち醱酵、腐敗、微等を發生せしめず永き貯藏に堪へ得るものなり。(四特出公第一九三二號)

緑茶製造法

緑茶の製茶工程中蒸熱前又は蒸熱中に茶の生葉に對し「アンモニア」水を噴霧状態に撒布して葉面一様に之を吸収せしめ以後の工程は普通の方法に依るものなり、斯くするときには製茶の水色香味を佳良ならしめ且つ茶葉の組織を柔軟にし水分の脱離を可分的に容易ならしめ劣等なる茶葉を用ひて良好なる緑茶を製造し得るなり。(四特出公第三二四六號)

精麥法

精白前麥粒の外皮を柔軟ならしむるため若干の水分を皮下に浸透せざる程度に與へたる原料麥の「セーリス」に連結し多數の摩擦搗白部を有する精麥機に供給し連續的に適過せしめ各製麥機間の麥粒通過時間を非常に少なからしむることにより其摩擦搗白操作によりて生せし摩擦熱を冷却せしむることなく操作の進行に伴ひ高温に達せしめて麥皮を軟化搗白するものにして搗白能率を増進すると共に搗き斑を極度に減少し色澤風味の佳良なるものを得んとするも

のなり。(五特出公第一七六號)

魚類貯藏法

乾燥せる粉末状の硅藻土八五乃至九〇部中に同じく乾燥粉末の「アルミナ」一五部及塩化石灰二乃至五部を混入したるものを以て魚類を貯藏するものにして魚類の變味、變質及腐敗を防止し得るなり。(四特出公第一八七一號)

酒容器

木裝桶樽の内腔に其の内壁面に鍍錫したる銅製筒体を嵌め込み筒体と桶樽の内間隙に「バラフィン」を充填せるものにして外部の氣温に甚だしき影響を受くることなく又内部金屬槽の一部に破損を來たし酒類の漏洩するが如きことあるも「バラフィン」の爲めに防止し得るものにして運搬上並に耐久上の便利を有するものなり。(四實出公第一四四三七號)

清酒火入殺菌裝置

熱湯釜内に挿入し得べき上端密閉せる圓筒形若くは二重槽の外槽側壁の一部を突出して寒暖計挿入室をつくり他の一部を突出して其の上には蝶番蓋を設け給水室とし尙側壁適宜の箇所に排水弁を備へたる酒類冷藏用「タンク」にして酒類の樽減り煮込み減りを除去し防腐劑を使用せずして酒類に變味を與へず完全に其本質を保有せしめ腐敗を防止せんとするものなり。(特許第八三九四一號)

壺詰酒の火入裝置

之に類似せる形状の殺菌槽内に給酒管を挿入して其管端を槽の内壁圓周面に沿ひて開口せしめ該槽の底部に放出管を連絡し給酒管に夫々調整弁を設けたる清酒火入殺菌裝置にして酒を槽内にて旋回せしめつゝ加熱殺菌する裝置を著しく簡單にし從來使用せる加熱釜に挿入自在にならしめたるものなり。(四特出公第四七七五號)

醸造用垂れ壺

周圍に氷塊其他適宜の冷却資料を收容し得る内外二重の壺を設け内側壺の周壁を彎曲せしめ其の内部上方には壺の中央部に向つて搾出せらるゝ液を該壺の内周壁面に沿ひて流下し得る圓錐狀導蓋を設け酒造用諸味より得たる搾汁の冷却を速かならしめ之に混有する澱を迅速に沈澱し風味に富める清酒を得んとするものなり。(四特出公三三三二一號)

清酒用活性炭素濾過機

陶磁器、硝子又は清酒に侵されざる金屬若くは清酒に侵されざる被覆を施したる金屬を以て製造せる適

酒類冷藏用「タンク」

上方開きたる蒸汽管の中途に丸き孔を穿ちたる境板を設け孔の周縁に環狀口縁を有する圓筒形の有底布袋を吊下げ布袋の下方に上面に噴汽孔を有する蒸汽管を左右交互に屈曲せしめ噴汽孔より熱蒸氣を噴出せしめて布袋中に挿入せる壺詰酒を加熱せしむる装置にして布袋にて急激に供給せる高温蒸氣の爲めに壺の破裂するを防止し酒を豫期の温度に温めんとするものなり。(特許第八三九七三號)

常形状の通液管の一端に注入管を他端には導出管を連結し通液管内兩端には濾過綿を充填し其の中間には細粗適當の活性炭素粒を層狀に充填し通液管は電熱器により加熱せしむる濾過機にして加熱に依り炭素の活性を促進し迅速に清酒の脱臭脱色並に火落菌其他の有害物を吸着除去し從來の火入作業を簡單なる濾過操作を以て行ひ香味色澤佳良にして火持ち好き清酒を得らるゝものなり。(特許第八四四三七號)

醤油諸味用「タンク」製造法

「コンクリート」製「タンク」の内壁に「ブローンアスファルト」に滑石粉及細砂を配合せるものを塗裝したるものにして醤油諸味の成分中特に油及酸に犯さるゝ憂なき醤油諸味用「タンク」を得らる。(四特出公第四八四四號)

醬油容器

「ブリキ」板に強靱なる日本紙を貼着せるものを材料とし日本紙の部分の内面として製罐したる後日本紙の部分全面に溶解せる「バラフィン」を塗布せし

ものにして醤油を收容して永く貯藏するも變質、變味の虞なく其の製造費に於ては在來の醬油樽に比し遙かに低廉にして且「バラフィン」は日本紙に密着せるを以て外部より衝撃を受くるも剝落することなく醬油樽に代用して最も理想的なるものなり。(四實出公第一〇〇四一號)

醤油諸味加温壓搾法

醤油諸味を壓搾するに當り待桶中にて諸味に生醬油を加へて加温攪拌したる後壓搾する方法にして諸味中の醬油及醬油の粘度を減少して壓搾袋内の粕との分離を容易ならしめ且つ品質の變化なく簡單に壓搾時間を短縮して其收得量を増加せしむ。(四特出公第五〇五三號)

穀類膨脹裝置

直立せる加熱室の内面を略ぼ卵形としその底部に含熱氣體の噴射裝置を、上部には脱氣弁を具へたるものにして含熱氣體を吹込み加熱加壓したる後急に容器を開きて穀粒を膨脹せしむるものにして且つ該含

熱氣體の活勢によりて對流的攪拌作用をなし迅速平等なる加熱をなし均整なる製品を得らるゝなり。(四特出公第三六一四號)

諸味醱酵速進裝置

仕込桶の中央に廻轉する螺旋羽根に電熱線を巻きて之れに適度に電流を通じ加熱し諸味醱酵を速進する裝置。(實出公第八二六二號)

諸味液搾出裝置

格子狀の凹溝を有し尙多數の小孔を穿ちたる台盤とこの溝の形狀に適合する如き形狀をなせる上下二枚の無端帶と之を壓搾する裝置とより成るものにして諸味を二枚の無端帶の中に挟み込み台盤上に來るとき壓搾せられるものにして平均且確實に壓搾せられ多量の清澄諸味液を搾出することを得るものなり。(四特出公第三六五四號)

小形蒟蒻製造機

梓形に壓搾機を取付けこの中央部に原料函を設け原

料函の底を上下一定間隔を有する如く上底、下底を作り上下兩底間に數本の圓杵をその周面が夫々上下兩底に接觸せしめ且つ適當の間隔に透孔を穿ち孔の上下は楕圓形に椀取りこの椀形に適合する凹入模様の型板を載せ昇降自在となし得たるものにし形板を取換へることに依り同一工程にて任意形狀の蒟蒻を製造し得るものなり。(四實出公第一四一四〇號)

精穀用噴霧裝置

上口擴大し頸部狹窄し中部胴擴大し更に下部に向つて傾斜狀に狹窄して落出口を設けたる形狀をなしたる霧室を作り上部肩部に噴霧口を設けこれに水壓又は空氣の壓搾に依る適宜の壓力を加へ室内に霧を噴出せしむるものにして給水を平等完全になし精穀を良好ならしむるものなり。(四特出公第四六〇〇號)

研米裝置

傾斜せる上下二枚の金網樋の下金網の一部を弧狀に彎曲せしめ研磨室を形成し室内には周側に多數並列せる皮革子の一端を固着せる研磨胴を急回せしめ前

方の金網樋内に衝撃用金網板を装着し板の後端には皮革子制抑用彎曲板を設けて衝撃用金網板の後方上部と研磨室の前方上部との間に米導入口を其下方に排出口を夫々形成したるものにして米粒を損傷せず迅速に研米をなし得るものなり。(四特出公第四六七〇號)

氷菓子製造器

内部に石綿を張りつめたる木製の有蓋箱内に氷菓子原料容器を支へる板を上げ下げなし得る様に取付けたるものにして冷却剤の多少にかゝらず容易に氷菓子を製造し得るものなり。(四實公第九五二號)

魚類乾燥調味装置

筐体の上部に設けたる魚類收藏室に無数の噴出孔を穿設せる蒸氣管を數本放射狀に數段配列し其下部に適度の濃度に調節し得る調味料を收容して蒸氣噴出嘴より噴出する蒸氣を前記蒸氣管の噴出孔を経て魚類に噴射せしめ、該蒸氣通路を切り替へることにより下部の調味料を吸上げて先に蒸氣を噴射して乾燥

したる魚類に調味料を噴射し加味することを得る装置なり。(四特出公第三三二五二號)

青物貯藏器

通風並透光自由の金網狀材料を使用して二重の壁を作り其の間に細砂狀或は粗纖維狀材料を充分濕氣を保ち且通氣性を失はざる程度に充し其の上部に多數の小孔を設けて時々注水して常に周壁に水分を保たしめる様作りたるものにして青物、果實或は切花類を貯藏し又運送用容器として有効なるものなり。(四實出公第九五二六號)

乾物類貯藏器

鹽化「カルシウム」或は酸性白土の如き吸水資料を多數小孔を穿てる圓筒に收めこれを貯藏器の側面より容易に挿入し得る様になしたるものにして構造簡單にして實用上便利なるものなり。(四實出公第九四八一號)

靜 器 工 業

鉄材の亞鉛鍍金法

從來の亞鉛鍍金の電解液に適量の「カドミウム」鹽「ニッケル」鹽「クロム」鹽の一種或は二種以上を加へたるものを用ひ陽極にて亞鉛鍍「カドミウム」「ニッケル」及「クロム」の金屬鍍を適當に配列するか或は又其等四金屬の合金を用ひて鉄材に亞鉛鍍金を施すものにして硬質にして且防蝕性に富める亞鉛鍍金を得らる。(四特出公第四三七六號)

鉛又は鉛「カドミウム」合金鍍金法

炭酸鉛或は水酸化鉛又は炭酸鉛及び炭酸「カドミウム」或は水酸化鉛及び水酸化「カドミウム」を焦性磷酸曹達の水溶液に溶解し其各液中に硼酸又は硼酸「ナトリウム」を添加したるものを電解液として使用するものにして迅速且つ均等に鍍金をなし得るなり。(四特出公第三二二四號)

尺度目盛腐蝕法

「クロム」鋼よりなる尺度体に鹽化第二鉄溶液に硝酸を注加せる液を以て腐蝕する方法にして腐蝕困難なる「クロム」鋼に正確鮮明なる目盛を刻み得。(四特出公第五一九一號)

金屬磨

機械的若しくは化學的研磨料に鹽化第一錫を含有せしめたるものにして鹽化第一錫の強烈なる還元力を利用して研磨を迅速ならしめ特に磨面に強き光澤を附與する金屬磨を得らる。(特許第八四二二六號)

金屬磨劑

「ステアリン」酸又は「バルミチン」酸と「オレイン」酸と軟質「パラフィン」とを攝氏三十七、八度に於て熔融する如き割合に配合したるものにして常温にては固体なるも使用に際しては摩擦熱により程

好き流動性を帯ぶる爲め有効に金屬面の清淨研磨をなし得ると共に保存携帯に便利なるものなり。(四特出公第一八八三號)

鉄材の洗滌方法

「コールタール」に水を加へたるものを加熱し依つて生ずる褐色液を硫酸に混合し之を適當の加熱水溶液となし之に鉄材を浸漬するものにして液は必要以上鉄材に作用することなく又人体に害ある悪氣體を發散することなきものなり。(四特出公第一九五六號)

金屬着色法

可溶性「モリブデン」酸塩と磷酸、多塩基性硅酸、弗化水素酸、硅弗化水素酸の塩類の一つを含む溶液中に浸漬し、鉄「アルミニウム」錫、銘、「マグネシウム」亜鉛、「カドミウム」の一種又は數種よりなる金屬又は金屬製品に鍍着層を生成せしむる方法にして比較的簡單なる手段により緻密堅牢にして腐蝕作用に對し抵抗力大に且つ外觀雅致に富む鍍着層を

生成せしむるものなり。(四特出公第一〇二九號)

金屬面に文字を腐刻する法

金屬面に「アスファルト」又は「ビッチ」を塗布し其塗布面に「アルコール」又は「アルコール」と醋酸との混和液に溶解する脂油即ち蓖麻子油、菜種油、大豆油、「オリーブ」油類を主要資料として造れる「インク」にて文字を印刷し後加熱して印刷部に於ける印刷「インク」塗布料とを融合せしめ然る後「アルコール」又は「アルコール」と醋酸との混和液にて融合物を洗除し金屬面を露出せしめて直に腐蝕液中に浸漬腐蝕するものにして容易に金屬面上に精巧なる腐蝕を施し得るなり。(四特出公第四五八九號)

金屬面焼付塗料製造法

合成樹脂「アンペロール」と桐油とを空氣の接觸を遮断して加熱溶解せしめ更に硫化亞鉛を加へ加熱せるものを「ターベンチン」に溶解せしめて作るものにして焼付後附着が強固にして弾性を有し特に「アルカリ」性硫化物に對しても大なる抵抗力を有する

ものなり。(四特出公第三六五六號)

金屬に紋様模様焼附法

青酸加里九〇と苛性加里又は苛性曹達一〇の割合に耐熱容器内に投入し之れを攝氏九百度内外に熱して溶解して處理液を作り之れに處理材を浸し其赤味を帯ぶるを待ちて水槽中に投入する紋様模様焼附法にして處理材表面に白黒よりなる適宜形状の紋様模様を焼附すと共に焼附面に光澤を有せしむるものなり(四特出公第五〇〇七號)

鉛の腐蝕を防止する方法

硫酸「カルシウム」、水「ガラス」及水を混合して得たる耐酸性にして固結性を有する物質に炭素粉、硫黄粉等耐酸性質物の一種又は數種を混合せる塗料を以て鉛の表面を覆ふ方法にして鉛の腐蝕せらるゝを簡易經濟的に防止せんとするものなり。(特許第八四一三二號)

鉄製或は鋼製品より錆塵埃油脂を除去する方法

鉄製及鋼製品を稀釋磷酸硫酸或は鹽化水素酸の孰れか一或は數種を用ひて加壓の下に加熱處理することにより迅速且つ經濟的に錆塵埃油脂を除去するものなり。(四特出公第四九三七號)

上 簇 器

枠の上部に針金を格子狀に編みたる金網を張り金網の上には押せば表面に廢物集中室を製面にはその集中室に反對向の簇房を形成する様に布を蔽ひ着けた

「アルミニウム」或ハ之れと類似物質板面に任意模様「アスファルト」防蝕膜を施し「アルコール」或は此れと類似の「アスファルト」膜を浸さざる揮發性物質を添加せる腐蝕液中に浸漬腐蝕せしめ然る後「アスファルト」膜を除去するものにして腐蝕止として塗りたる「アラファルト」膜を害することなく精密なる腐蝕模様を作り得るなり。(四特出公第四二二二號)

乾 繭 籠

普通使用せらるゝ繭乾燥籠に於て二本の細き篠竹を縦と斜とに細長き精圓形を爲す如く回曲して籠の裏面に密着せざる様底部に嵌装したるものにして篠竹は水平に籠体を緊張せしめ且つ籠体の裏面に密着せざるを以て通氣を防げる虞なく均等に繭を乾燥せしめ品質を毀損せしむることなく其成績を極めて佳良ならしむるものなり。(四實出公第一三二一六八號)

蒸 焼 器

U形格子を並べたる鉄格の左右兩端の格子のみを中央部の格子より稍高くし鉄格の裏面には耐火材粉末を被着したる金網を着脱自在に装着し且鉄製蓋を取付けたるものにしてその蒸焼の際透視せらるゝにより焦す憂なく又金網は之を取り外せば焼物を直接火氣に觸れしめて焼くことを得るなり。(四實出公第九五九七號)

霞 煎 熬 網

汁樟腦等を混和して色漆肉を作り漆器様地に捺染式に模様を捺染し其の上に下地をなし春慶漆を塗布するものにして此の色漆肉により漆器様地に模様を捺染するも吸収せられず漆下に高低なく色漆肉色の儘各種模様を現し得るなり。(四特出公第三二八八號)

引違障子防風雨装置

窓枠下部膳板の面に窓枠の内側の幅を通して内外に障子の溝滑車の軌條となしたる突條縁面及中央にも同様に突出壁を作りたる軌條板を定着したるものにして風又は雨水飛沫を良く遮断し得るものなり。(四實出第一一四五八號)

松葉にて「マツチ」の軸木を製造する方法

生松葉を攝氏水点下十四度以下に冷凍し之を構成する細胞膜を破壊し之を乾燥して水分を去り更に石灰水中に浸し細胞内に石灰を沈着せしめ之れを空氣中にて其儘乾燥せしめ又は石灰を沈着せしめたる上之

るものにして構造簡易にして優良なる繭を得らるものなり。(四特出公第三四七〇號)

稚 蠶 飼 育 器

亞鉛引鉄板製の八角形箱の蓋の外周に四個の究氣誘導筒を設け此の誘導筒は起臥することに依り空氣の流通を調節し得る様になしたるものにして蓋は二重にして天井板には大孔を切抜きたり、又箱の中身の四ヶ所及相對する二側は二重となし空氣孔を設け二側の内壁には多數小孔を設け自由に空氣及湿度の調節を計り得るものにして稚蠶飼育に適當なるものなり。(四實出公第九八六九號)

蠶 兒 飼 育 室

蠶枠の四陽内側に脚を附し多數積み重ね蠶架となし之を水平自在に移動せしむる爲め台車を設く別に床面下に「レール」及台車を設け台車の高さは床面の高さと等しくなし之れに前記の蠶架を乗せたる台車を載する様に構成したるものにして給桑除沙を容易迅速ならしむるものなり。(四實出公第九二二〇號)

大鼓形、金網製霞煎器の上面中央に資料出入口を設け底網に上部彎曲展開して断面「r」状をなす衝轉片を一個乃至數個を樹立固着せしめたるものにして衝轉片を設くることにより資料霞を水平に動搖せしむる場合資料は必ず衝轉片の凹凸に衝突し自轉せしめ煎熬を均一且迅速ならしむるものなり。(四實出共第九六〇七號)

漆器様地製造方法

硅藻土、炭酸「マグネシウム」、砥の粉、麻屑又は紙莎、蒟蒻粉、蕨糊と是れに松杉等の樹脂量多き針葉科の枯葉を蒸したるものを混し適宜の水にて捏ね混ぜ金屬型に入れ強度に壓搾して乾燥硬化して製するものにして緊密なる様地を得られ下地塗を施すことなく漆を塗り得るのみならず在來の挽物の如き高價なることなく且缺毀裂傷の虞れなきなり。(四特出公第三、八八八號)

春慶塗漆器製造法

塗漆配合顔料と朱合漆との混合色漆に寒天青梅の絞

に炭酸瓦斯を通じて「マッチ」の軸木を製造するものにして天然に豊富なる松葉を利用し経済的に「マッチ」軸を製造するものなり。(特許第八二九八九號)

黑板製造法

木板、紙板、金属板類の面に漆松煙「アスファルト」砥粉類を加へたる塗料を施し次に直ちに塩化硫黄を「ベンゼン」に溶解したるものを塗布するものにして永く使用に堪へ屢々水拭するも剝落せず且つ白墨痕鮮麗なり。(四特出公第三四二二號)

日傘

竹骨の肉と表皮とを剝離せしめ其間に紙又は布を張りたる後表皮を貼り付け骨の先端には金属「セルロイド」又は「エポナイト」其他適宜材料にて製作したる保全爪を嵌むるものにして堅牢にして外觀又優美なるものなり。(四實出公第一〇六二二號)

傘骨

(四特出公第一一九六〇號)

馬の護蹄深「ゴム」靴

弾力性の「ゴム」を以て形成したる靴にして蹄と接觸する内側下端周囲及底部に綿布を貼着し下端外側は硬質「ゴム」を以て補強し之を「ゴム」を以て補強し之を「ゴム」底に取付けたるものにして蹄及蹄の上部を蔽ひ使用するものにして病蹄を治療する他水田等泥濘の土地にて使用する馬蹄の腐爛を防止し得るものなり。(五實新公一五號)

木砥石

木質の組織緻密にして軟質なる平滑を有する木台に機械油「パラフィン」蠟等の如き粘着性强き潤滑剤に研磨剤を混入せるものを塗布したる及物を研磨する木砥石なり。(四特出公第一二〇五號)

枕

斜狀に相對向する杵金の兩脚の各端を底板を取りつけ兩杵金の頂邊を布片を以て連結し且つ枕金の頂邊

竹製傘骨の兩側面に縦に數條の溝を穿ち頂邊の傘紙貼付の個所を除きたる兩側並に裏面を「セルロイド」を以て被包したるものにして傘骨を堅固とし腐蝕微等を防ぎ傘骨の開閉を圓滑ならしむると共に「セルロイド」の裏面は溝内に嵌着して容易に剝離せしめざる効果あり。(四實出公第一三二二〇號)

履物の底

輕き金属製細管の一侧を切開きたるものを互に咬合連続せしめて二重の管子状となし之を護膜にて被覆緊束したる履物底にして弾力性を帯び且屈伸にして重量輕減せられ耐久力に富むものなり。(四特出公第四八九一號)

草履

自動車の古「タイヤ」を八ツ折齒の如く切断して地摺齒の西方に薄く「ゴム」を残しこれを木に折返し固着し此の上に表を取付けたるものにして、在來のものゝ如く直接縫或は釘付けしたるものゝ如く「ゴム」裏の離脱することなく堅牢なるものなり。

に紐其の他の屈撓性條を連結し之等の紐又は條の先端を底板に連結し全体を適當の資料にて被覆したるものを器台の兩側壁の内側上部に一端を連結せる「チェーン」其の他の屈撓性條にて吊せる枕にして頭部の向くる方向に枕胴も共に搖動し常に頭部との接觸を良好にして且つ帶熱を防止し寢心地を良好ならしむ。(四實出公九七六八號)

鉢巻形冷腦器

内壁を平面、外壁を彎曲とし斷面が半圓狀をなす中空護膜管を鉢巻形に形成し兩端を折出して注水口及取付部とし上部に「バンド」を設けて之を接続することにより器の重量を支へしむる様なしたるものにして頭の全周を一升到冷却することを得る器の重量を支へる爲「バンド」にて吊す様なしたるを以て起伏何れの場合にも使用し得るものなり。(五實出公第五五二號)

衣裳文庫

衣服の取出收納の手數を輕減し而も完全に保存する

爲長さ約三尺幅約一尺五寸の「ハトロン」紙を二枚重ね之の一端に「セルロイド」の如きもの、薄板の芯を入れ張着け點綴したるものに衣服を仕舞ふ場合には之に挟みて仕舞ふものにして取出すときは下部にあるものにてこの點綴部を片手につかみ其の上下の衣報を挟みたる本具を他の片手にて押へ引抜くときは他の衣類に少しも關係なく取出すことを得甚だ便利なるものなり。(四實出公第一四一五五號)

電 燈 覆

半透明又は不透明なる笠主体の下端周縁に内方に向ふ突縁を設け該突縁上に接合部を有し其の所を外して自由に入出し得べき弾性環と突縁の間の所に各種各様の覆を差入し前記弾性環にて固定せしめてなるものにして遮光裝飾廣告等の覆を容易に自由に交換して使用し得る實用的のものなり。(四實出公九七七五號)

卷煙草繰出容器

「ハンドル」を回動して容器中より卷煙草を自動的

に取出し而かも之と全時に收容せる卷煙草を動搖せしめて整理するものにして台盤の中央に凹缺條を設け其上部に凹溝を穿設して轉棒を回復し得べく設け該轉棒の下には重錘を附設す容室の上部兩側より漏斗板を垂下し該漏斗板は其の上部を串により容室の壁に串着し回動し得べく設け其の兩端は常位に於て凹溝に沿ひて其の上部排出口に形成せしむる如くしたるものなり。(四實出公九七六六號)

經木簾製手提袋

經木製簾の兩端を互に貼眞して筒狀袋屋を設け其の上部に縁布を縫着し別に厚紙版を所用の形に作り其中央部を裁斷し之を布にて貼付け折疊出来る様にし底としたるものにして價廉にして外觀優美なる手提袋なり。(五實出公第八六七號)

折疊提灯

中央に透孔を設けたる四角形の厚紙より成る底板の四邊縁め四角柱形に貼られたる側紙の下邊を貼着し其の側紙の上部には相對向する邊の中央部には小孔

を設け該孔に提手を嵌合せしめたるものとす、使用に當りては底板の透孔に下より上方に向け蠟燭を貫通せしめ點火す又不用の時は折疊み携帯に便なり。(四實出公九六五五號)

米 櫃

冠蓋を具へ内壁に度目を表記したる容器の内底部の中心に圓杆を樹立し其の圓杆に下方に彈板を對し圓杆を挾持する止管を嵌挿し更に定規用廻旋杆の中央を緩嵌したるものにして廻旋杆の先端を度目に合せ其の量を計り得るを以て買求めたる米の量に不正があるや否を量定し得る効果あり。(四實公第九五九六號)

保温保冷の飯櫃

上部周縁及底部中央部に各通氣孔を設けたる外筒の上部に中蓋付の被蓋を冠し被蓋の上部中央及中蓋には通氣孔を穿ち中蓋の下面に布を張付け被蓋の下方突縁には通氣孔に一致する通氣孔を穿設し外筒内部には脚に切缺を有する素焼製の飯櫃を嵌入し外筒の

内壁には切缺に對して突起を設けたるものにして、夏季は外筒の通氣孔と被蓋の通氣孔を一致し通氣を良好にし、冬季は正反對に爲し冷却を防ぎ又洗滌、乾燥早く衛生的なり。(四實出公九六七九號)

煮沸器臭把柄裝着護膜

基板目狀の凹凸を刻める護膜板に石綿板、金網及内面裝着護膜板を順次重ね合し之を煮沸器の各種把柄に被覆し膠着硬化せしめたるものにして取扱の際強熱を感ずることなく又脱落等の誤りを尠からしむるなり。(實出公第一〇〇五四號)

茶 濾 器

支持金具を環狀になし其の兩部の相重なる面に溝を設け之に兩端の上下に設けたる挾持片の一を嵌入挾持せしめ尙支持金具の上縁に數個の係止片及下側に支持溝を圍繞して茶濾器を嵌入支持せる茶濾器にして支持金具の徑を任意に調節し大小何れの急須にも極めて容易に適合し得るなり。(四實出公第九六一四號)

辨當箱保溫容器

「コルク」製箱の内面に金屬版を張り下部に加熱室を設けこれに綿を填充し液体燃料を浸漬し上部より小孔を有する金屬板にて區切り其の上に「スプリング」に石綿を纏着したるものを取付けこの部分にて僅かに燃焼せしめる様になしたるものなり。(四特出公第一一七六〇號)

萬年筆

細竹の内膜を削りて纖維質を現はし之を浸出管とし「ペン」先把持管内に挿入し「インキ」貯管に密着せる様にしたるものにして「ペン」を倒に爲すとき「インク」は纖維質を浸潤して寸時に管内に浸入し極めて軽く一度振れば浸出管内を傳ひ「インク」は忽ち「ペン」先に給與し得らるゝものなり。(實出公第一〇〇五二號)

高低變形自在腰掛

二個の座にV字形の軸桿を軸取付となし全形の軸桿

を倒さに右軸桿の中央部に軸付となし且つ他端に數個の凹部を有する桿を有するものを取付けたる構造のものにして右座の一を反對側に廻して凹桿を中央軸に適宜に掛けることに依り高さを調節し得られ又其の儘に使用する場合には二個として使用せらるゝものなり。(四實出公第九八四七號)

白珊瑚加工法

白珊瑚の裏面より其内部に削りて空洞を造り該空洞面を内部より朱漆にて着色し後空洞を石膏にて充填し次に白珊瑚を以て閉塞するものにして空洞内面に塗りたる着色珊瑚の表面より透視するとき「ボケ」珊瑚の如き外觀を呈せしむるものなり。(四特出公第一七八三號)

球形眞珠形成法

人工により眞珠を生成する場合眞珠貝の前收足筋組織の一部を之れに隣接せる組織と共に削切し此處に核挿入の通路を作り核を前收足筋組織と後収足筋組織との連着部附近の下層に挿入密着せしむるものに

〇號)

塗布用刷毛

硬き纖維と一端を切込たる羅紗片とを交互に重ね其の基部を縫綴し之を把手の先端に固着せる把持金具にて把持し銜着せる塗布用刷毛にして堅牢にして使用中刷毛部の脱落する恐なく且塗布液を多量に含み得る特長を有するものなり(四實出公第九七七七號)

多色印刷用製版方法

黒色紙上に原稿通りに作れる輪廓版を印刷し其版畫上に白色塗料の類にて各色版毎に原稿に於ける彩色の濃淡に準じ濃淡を描出し之を網目版とし次に之を濕板上に透し撮りして陽畫原版を得て然る後感光性板に重ねて刷りて作るものにして寫眞「フィルム」乾板等を使用することなく簡易經濟的に又彩色の筆致を容易に表はし得るものなり。(五特出公第三三六號)

補強浪板

八一

して前收足筋組織の緊縮作用を減殺して確實に核の吐出を防止し優良なる球形眞珠を得らる。(四特出公第四五一九號)

眞珠形成法

眞珠介其他の介類の後收足筋組織の皮膜を傷け之より後収足筋組織と之を被覆する上覆皮膜との間を通じて核を腹部組織中に挿入し以て眞珠を形成せしむるものにして後収足筋組織上覆皮膜の收縮作用を利用し核挿入通路を直ちに閉塞し迅速に癒着せしめ核の排出せらるゝことを阻止し歩止り多く優良なる球形眞珠を得らるゝなり。(四特出公第四二七〇號)

球形眞珠形成法

生きたる眞珠貝の足糸を抜き去り後収足筋組織の下部附近の組織を膨脹せしめ然る後後収足筋組織と該組織の下端に垂下せる腸官組織との窪入部の皮膜を傷け核を該組織の下層に挿入密着せしむるものにして此の足糸の排除により大形核の使用を可能ならしめ優良なる球形眞珠を得らる。(四特出公第三三〇

數段に形成せる浪板の各隆條部の外周に沿ふて横に隆起を適當の間隔に突設したるものにして葺合せの時この隆起を順次連絡嵌合して葺合するものにして從來の浪板に比し葺合に於て縁を多く重ね合す必要なく單に一の隆條部を重ね合すのみにて確實に固定し得且つ著しく強度を増すなり。(四實出公第一一四五三號)

染繩製造法

油脂類に鹽化硫黃を作用せしめて生成せる粘着物及澱粉、蛋白質、蒟蒻粉、小麦粉等を適宜に使用し粘着液となし之に色素を混和し豫め連續的に柔軟にしたる繩面に有溝「ローラー」を用ひて均一に附着せしむるものにして柔軟なる染繩を迅速且大量に生産し得るなり。(四特出公第三七六二號)

石材着色法

同一色合を有するも其の溶媒を異にせる二種以上の染料を夫々單獨に真空壓入、乾燥の三工程を経て石材を着色するものにして染料を容易に石材の實質内

に滲透せしめ長年月を経過するも其表面の帶色を變ずることなく又たとへ石材の破壊さるゝことあるも石材特有の色相を顯出する事なく完全なる着色石材を得らる。(四特出公第四九〇六號)

木材防腐法

「ナフタリンスルフォン」酸誘導体の石灰鹽に鹽化亞鉛を加へ該混合物が水に可溶性なるを利用し之を木材に注入し又は塗布し水に逢ふも再び滲出せざる様に「アルカリ」鹽の溶液に浸漬又は塗布し「ナフタリンスルフォン」酸石灰鹽を難溶性の「アルカリ」鹽及不溶性の鹽基性炭酸亞鉛に化生せしむる木材防腐法にして永く防腐作用を完ふすることを得るなり(五特出公第五六五號)

木材加工裝置

木材面に所要の木理模様を押捺加工するに間隔調整自在の二對の加熱「ローラー」を裝置し木材の表裏及兩側面に同時に模様を加工せんとするものなり。(四實出公第八三〇六號)

冷藏庫

冷藏庫の庫体及扉子の中空二重壁の空間に原形を變せざる程度に蒸焼したる粉殻を充填し且庫体及扉の各内側面に珫膠を施したる構造にして粉殻は輕量にして固結の虞少く且熱傳導力薄弱なる爲外氣の遮斷完全にして庫体及扉の内側は珫膠を施したる爲水氣の滲透なく又腐蝕を生ずることなし。(實出公第一〇〇五一號)

金庫耐火壁

金庫又は寶庫の耐火性包匣の二重壁空間に珫藻土、石灰石其の他の炭酸石灰、礫砂及石綿を密和せるものを充填するものにして比較的輕量にして耐熱性强く且つ高熱に遇へば不燃燒性瓦斯を發生し燒損を阻止するものなり。(四特出公第三五五五號)

木材其他纖維質物防火法

「デイシヤンブイアミド」の水溶液を(「カルシウムシアミド」より容易に製造せらる)主劑として之に

容易に溶融する防火資料即硼酸、磷酸、「タンゲスタン」酸等の可溶性鹽類を混溶せる液を塗布滲潤せしむるものにして若し急劇に加熱せらるゝときは多量の不燃性瓦斯を發生すると共に溶融し纖維を被覆し以て防火の目的を達するものなり。(特許第八二六四九號)

硬質木質纖維板又は器物の製造法

石炭酸「フォルマリン」の縮合物を有機性溶劑に溶解せるもの或は之に天然樹脂類を有機性溶劑に溶解せるものを「アルカリ」液と水にて「エマルジョン」状とせるものと木質纖維を水中にて叩解せるものとを混合して後無機或は有機酸類にて中和し脱水壓搾し加熱することに依り板或は器物を製するものにして耐熱耐水且堅硬なる木質纖維器物を得らる。(四特出公第四五九三號)

耐酸塗料製造法

「アスファルト」を流動「バラフィン」及「クレゾ

「ル」等に溶かし「フォルマリン」を加へて之れに「ベンジン」にて稀釋せる塩化硫黄を作用せしめたるものにして酸に良く耐へ皮膜強靱なる耐熱耐酸塗料を簡單迅速に得らる。(特許第八四一七二號)

「マグネシア」塗料製造法

硫酸礬土の熱溶液に適量の酸化苦土粉末を添加しつゝ攪拌し此際生ずる反應熱を以て水分の大半を蒸發せしめ加熱して殘留水分を除去したる後之に適量の酸化苦土を配合して細末となしたるものにして從來のものゝ如き過度の急結性を緩和し且つ其の固結物に龜裂を生じ或は作用に與らざる硫酸礬土微粉の噴出し易き欠点を除去したるものなり。(四特出公第四〇四四號)

耐火耐水石棉板製造法

硫酸曹達水溶液、亞鉛粉末、黒鉛粉末の混合液に石棉紙又は石棉板を浸し後乾燥せしめて石棉紙又は石棉板の表面に耐火耐水膜を構成せしめたるものなり(四特出公第四六〇五號)

金屬線入石棉布

石棉布に所々彎曲部を設けたる金屬線を任意の間隔を置いて織成せる金屬線入石棉布にして金屬線にて石棉布を耐久的堅牢となし他の器物を金屬線の彎曲部に鈎止して物品を定着することを得又物品を包被するときは彎曲部を外方にして包むものにして金屬線自体は包被する形状を保ち易き等の効果あるものなり。(四實出公第一三二七四號)

塗鋪用瀝青質乳劑製造法

石油精製の際生ずる廢曹達液に油脂又は脂肪酸若くは油脂を「アルカリ」にて精製する際生ずる滓の如き油脂含有物を加へ加熱し油脂分を「アルカリ」にて鹼化せるものを「ピッチ」、「アスファルト」、石油、重油其他の瀝青物を混じ水にて稀釋し搗碎密和して乳狀体となしたるものにして廢棄に均しき材料を安定劑とし永久的乳劑となし且つ任意に稀釋し得るものなり。(四特出公第四二六八號)

白雲石より炭酸「マグネシウム」を製造する方法

白雲石を塊狀の儘燒鑛して水に投じ炭酸瓦斯の作用し易き極めて良好なる乳化体に消化し酸化又は水酸化「マグネシウム」と酸化又は水酸化「カルシウム」の混和物を作り炭酸瓦斯を通じて炭酸「マグネシウム」及炭酸「カルシウム」を得るものにして簡單なる方法を以て比較的純粹なる「マグネシウム」を得らる。(四特出第五〇三三三號)

塗壁用糊製造法

甘藷澱粉粕を粉碎したるものと澱粉とを水に投入攪拌して塊狀物を生ぜざる様各微粉を充分吸水分離せしめたる後苛性曹達液を混和攪拌し殆んど透明なる糊狀となしたるものにして從來最常用せらるゝ角又糊に遜色なく固有臭及腐敗し易くして貯藏困難等の缺点なき塗壁用糊を得らる(四特出公第四八三二二號)

壁用糊料製造方法

甘藷澱粉採取の際の壓搾殘渣或はそれを乾燥せしめて可及的微粒子の粉末となしたるものを苛性曹達、曹達灰等の「アルカリ」性溶液に混和溶解せしめて從來捨てゝ顧られざりし壓搾殘渣を利用し角又糊の代用とし悪臭なく養溶かすの必要なく廉價にして耐久性ある糊料を得らる。(四特出公第四六七五號)

粉末消火劑製造法

礫砂に水を加へ重湯煎上にて加熱溶解し之に曹達灰及び炭酸「マグネシウム」を混和攪拌し尙加熱して水分を蒸發せしめたる後冷却して生ずる塊狀物を粉碎して製造するものにして之を火面に撒布する時は容易に附着膨脹し燃燒物を被覆し不燃性瓦斯を發生し以て消火の効を全ふするものにして且つ貯藏中固結する事なし。(四特出公第四七二九號)

火粉止排煙器

風壓によつて廻轉し煙突内部の瓦斯体を外部に吸出し且つ廻轉子周囲の排煙孔の中央部に全面を金網によつて形成せる翼片を軸着したるものにして瓦斯体

は翼の誘導と翼片の廻轉によつて排煙孔より外方に向つて吸出せられ其の途中翼片に衝接して之に混有する火粉を附着消失するものなり。(五實出公第三九一號)

粉末消火劑製造法

重碳酸曹達或は炭酸曹達に適量の粉狀炭酸「マグネシウム」を混和して能く粉碎攪拌し然る後に礫砂末を混和したるものにして之を燃燒部分に撒布するときは直ちに多量の消化性瓦斯を發生し消化すると共に該粉劑が燃燒物に溶着し其物体を不燃性化するなり。(四特出公第四三三三號)

多孔性斷熱「ブロック」の

製法

石鹼溶液を煮沸し之に空氣を吹き入れ氣泡化したるものに炭酸曹達溶液を注入混和しこれに「セメント」の如き水硬性物質を入れ混和し型に入れて凝固せしむる多孔性斷熱「ブロック」の製法。(特出公第二四五〇號)

爐「ブロック」結合用熱傳導體

水硝子「グリセリン」及「グラフアイト」よりなる爐「ブロック」結合用熱傳導體にして爐「ブロック」を有効に結合し然も熱傳導度大なる結合劑を得らる(四特出公第五一六三號)

「シャッター」軸逆轉防止裝置

「シャッター」軸に棘齒の方向反對なる二個の棘齒輪を固定し各棘齒輪と啮合すべき一對の爪腕を機枠に樞着し之等の爪腕を彈條にて連結して夫々の棘齒輪に壓接せしめ「シャッター」開閉の際に前記の爪腕を交互に相對應する棘齒輪との啮合より離脱せしむるものにして開閉中絶對に反對方向に運動せざるものなり。(四特出公第三〇七七號)

328
325

終

